

起因物（小）別コードno.415 屋根、はり、もや、けた、合掌労働災害発生状況

業種別屋根、はり、もや、けた、合掌労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業			1		2		4	2	2	4	2	4	1	1	2	2	1						2	30
010102 水産食 料品製 造業			3		1		4		2	5		2	2	2	1	1	1	1	1	1		1	2	30
010103 農業保 存食料 品製造 業							2	3	2		1	2	2	1			3	1		3	1	1	1	23
010104 パン、 菓子製 造業			2		3		3	1	2	1	1	2	1	4	1	1	1		1	1	2		2	29

繊維製 品製造 業		2	1	1		1	1	1		1	1	1					2	3	1	1	15
010401 製材業		10	9	5	5	5	4	6	1	6	6	3	7	1	2	5	1	7	3	2	88
010402 合板製 造業					2	1					3	1				1		2			10
010409 その他 の木 材・木 製品製 造業		6	2	1	5	3	3	1	6	2	2	3	5	2		1		2		2	46
0104 木材・ 木製品 製造業		16	11	8	11	8	7	7	7	8	11	7	12	3	2	7	1	11	3	4	144
010501 木製家 具製造 業		2	3	1	1	2					2		1		1		1		1		15

の印 刷・製 本業								1									1			1		3	
0107 印刷・ 製本業			2					2					2		1	2	1	2			2	1	15
010801 無機・ 有機化 学工業 製品製 造業			1		1		2	3	1		1	2		1	1		2			3	1	1	20
010802 化学織 維製造 業								1															1
010803 医薬品 製造業								1			1											1	3
010804 石油製 品・石								1			1						1						4

炭製品 製造業																							
010805 プラス チック 製品製 造業				2		3	2	2	2	2	1	1	1	1	2	3	1	1	3	1		1	29
010806 ゴム製 品製造 業			1		1			1	1	1	1			2		1					1		10
010807 皮革・ 同製品 製造業													1										1
010808 塗料製 造業				1		2																1	4
010809 化学肥 料製造 業						1				1						1	1						4

業																								
010904 耐火物 製造業				1												1						1	3	
010905 その他 の窯業		1				1			2	1		1	1			1		1					9	
010909 その他 の土石 製品製 造業		7		1		4	3	2	2	5	2	4	4	3	1		1	1	2	1	1	4	48	
0109 土石製 品製造 業		15		7		8	6	4	6	12	6	9	9	6	5	3	6	6	8	3	4	10	133	
011001 製鉄・ 製鋼・ 圧延業				1		1	1			1		1				1					1	7		
011002 鋳物業				2		3	1	3		2		1		1	1	1	1	3	1			1	21	

属製造業		1	1			1	1	2			2			1	1		1	1	13		
011201 洋食器・刃物製造業																					
011202 ねじ等製造業												1							1		
011203 金属プレス製品製造業		1				1		1		1		1			1	1	1	2	1	11	
011204 めっき業		1	1	2				2			1	1	1		1	1	1			13	
011209 その他の金属製品製		22	19	13	14	10	17	8	13	13	6	8	10	9	13	9	14	6	9	4	217

橋梁建設工事業		2	1			2		2	1		1			2		2		1			1	15	
030106 道路建設工事業		3	5		2	2		1	3	3	6	1	2	2	1	5	1	3	3		5	48	
030107 河川土木工事業		2			1		1	1												1	1	7	
030108 砂防工事業							3		1		1					1	1					7	
030109 土地整理土木工事業		2	3		3	3		1	4	3	2	3		2	1		2	1	2		1	2	35
030110 上下水道工事業		2	5		2	2		1	1	1	1	4		1			2	3	2	1	1	2	31

030111	港湾海岸工事業					1		1	1	1			1			1				3		9			
030199	その他の土木工事業		39		23		34	27	19	17	13	19	22	16	29	13	16	10	9	23	24	14	8	375	
0301	土木工事業		50		37		43	39	24	29	23	26	36	18	35	19	19	23	14	31	28	20	19	533	
030201	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業			235		219		216	195	156	165	103	114	107	121	127	121	126	112	124	123	114	94	76	2,648
030202	木造家屋建築			1,040		840		807	652	531	485	411	398	425	476	400	375	322	369	346	317	263	235	231	8,923

その他 の港湾 運送業																								
0502 港湾運 送業			1		1							2		1	1	1	1						8	
05 貨物 取扱業			2		3			3	2	3	1	3		3	1	4	2					2	29	
060101 農業			3		6		7	7	7	4	4	6	6	11	7	6	10	8	3	2	2	9	8	116
0601 農業			3		6		7	7	7	4	4	6	6	11	7	6	10	8	3	2	2	9	8	116
060201 木材伐 出業			1				1	3		1	1	1			1		2	2	1				14	
060209 その他 の林業			2		2								1	2		2					1		1	11
0602 林業			3		2		1	3		1	1	1	1	2	1	2	2	2	1		1		1	25
06 農林			6		8		8	10	7	5	5	7	7	13	8	8	12	10	4	2	3	9	9	141

建具・ じゅう 器等卸 売業			1			1		1	1				1		1		1		1	1	9	
080109 その他 の卸売 業			18	8	13	7	6	3	4	10	7	9	10	10	2	5	7	7	6	7	6	145
0801 卸売業			19	9	15	7	9	4	4	11	8	10	10	10	3	5	8	7	6	8	7	160
080201 各種商 品小売 業			6	4	4	3	2	1	3	1	1	2			1	1	2	1	2		1	35
080202 自動車 小売業			1		1				1		1	1	2			1	1	1			4	14
080203 家具・ 建具・ じゅう 器小売			3	6	2	1	1	3			2				1	1	1		1			22

業																								
080204 燃料小 売業			2		4		3	2	2	3		3	5	3	3	3		4	3	4	3	1	1	49
080205 新聞販 売業			3						1	1			1	1			1		1					9
080209 その他 の小売 業			28		24		20	26	14	15	22	21	26	20	16	22	21	17	12	15	13	12	16	360
0802 小売業			43		38		30	32	20	23	26	25	36	27	21	26	23	25	18	23	18	13	22	489
080301 理容業													1											1
080302 美容業																1						1		2
0803 理美容 業													1			1						1		3
080401								1	1	1	1				1		1			1	1	2	1	11

の金融業																							
0901 金融業			1		1			1	1	1			2		2			2					11
090201 旅行業																							
090209 その他の 広告・ あっせ ん業			3				1	1	1			1	2	1	1			2					13
0902 広告・ あっせ ん業			3				1	1	1			1	2	1	1			2					13
09金 融・広 告業			4		1		1	2	2	1		1	4	1	3			4					24
100101 映画製																							
								1		1	1	1					1						5

公園・遊園地				1	1	1		2	2	1	1		1	1	1	1	2				15	
140309 その他の接客 娯楽業 -その他		2		7	3	5	2	4	6	7	2	4	4	2	3	2	1	2	5	1	8	70
1403 その他の接客 娯楽業		2		9	6	9	7	8	14	9	6	8	6	4	8	3	3	4	8	3	8	125
14 接客 娯楽業		22		20	22	22	19	17	22	22	20	23	19	18	14	12	10	22	15	10	23	352
150101 ビルメン テナンス業		17		14	15	24	10	28	16	13	22	20	20	16	13	14	11	15	12	16	18	314
150102 産業廃 棄物処 理業		6		7	5	3	2	5	3	1	2	6	3	4	2	5	2	1	2	1	1	61

150103 その他 の廃棄 物処理 業				1			1	4	2	1	3	2		1		2	1	3	1		2	2	26
150104 火葬業																							
150105 と畜業														1									1
150109 その他 の清 掃・と 畜業			7	8		7	1	4	3	3	1	2	3	6	3		2	5	4	5	1	1	66
1501 清掃・ と畜業			30	30		27	29	20	38	23	18	28	29	31	23	17	22	21	21	19	20	22	468
15 清 掃・と 畜業			30	30		27	29	20	38	23	18	28	29	31	23	17	22	21	21	19	20	22	468
160101 官公署				1		1					1	1	1	1			1	1					8

1601 官公署					1		1					1	1	1	1			1	1					8
16 官公 署					1		1					1	1	1	1			1	1					8
170101 派遣業			1											3				1				1		6
1701 派遣業			1											3				1				1		6
170201 警備業			2		2			1	4		1	2			3	1	1	1	1			1	1	21
170202 情報処 理サー ビス業															1									1
170209 その他			19		12		12	20	22	19	9	16	20	19	21	18	16	9	8	24	15	15	19	313
1702 その他 の事業			21		14		12	21	26	19	10	18	20	19	25	19	17	10	9	24	15	16	20	335
17 その 他の事			22		14		12	21	26	19	10	18	20	22	25	19	17	11	9	24	16	16	20	341

建設工事業																							
030104 鉄道軌道建設工事業																							
030105 橋梁建設工事業			1						1														2
030106 道路建設工事業	1																						1
030107 河川土木工事業																							
030108 砂防工事業									1														1
030109 土地整理土木工事業												1						1					2
030110 上下水道工事業					1												1		1				3
030111 港湾海岸工事業																							
030199 その他の土木工事業			1		1		3					1			1			2					9
0301 土木工事業	1		1	1		2		3		2			1	1			1		1	3	1		18

030201 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	11	19	11	11	12	13	9	8	9	6	4	4	6	6	4	6	6	4	7	12	3	3	3	177
030202 木造家屋建築工事業	35	28	35	33	27	28	17	19	20	17	10	11	13	14	13	7	15	15	9	6	11	9	3	395
030203 建築設備工事業	2		2	1	3	1	1	1		1	1	2	1	2		1	2	1	1	3	1		1	28
030209 その他の建築工事業	18	15	14	18	13	21	16	16	15	16	16	15	17	14	27	15	15	12	8	13	8	7	11	340
0302 建築工事業	66	62	62	63	55	63	43	44	44	40	31	32	37	36	44	29	38	32	25	34	23	19	18	940
030301 電気通信工事業	2				2	1	1	1	1	3		2			1	1		1	1	1	1			19
030302 機械器具設置工事業	2	1	1	2		2	1	1	2	1		1	2	2	3	1	1	1				2		26
030309 その他の建設業—その他	7	4	5	4	1	4	4	4	6	1		1	4	3	2	2	1	6	3	6	4	1	1	74
0303 その他の建設業	11	5	6	6	3	7	6	6	9	5		4	6	5	6	4	2	8	4	7	5	3	1	119

050209 その他の港湾運送業																							
0502 港湾運送業			1		1																		2
05 貨物取扱業			1		1																		2
060101 農業	1							1							1		1					2	6
0601 農業	1							1							1		1					2	6
060201 木材伐出業																							
060209 その他の林業																							
0602 林業																							
06 農林業	1							1							1		1					2	6
070101 畜産業			1		1			1			1		1			1	1	2		1	1	12	
0701 畜産業			1		1			1			1		1			1	1	2		1	1	12	
070201 漁業																							
070209 その他の水産業																							
0702 水産業																							
07 畜産・水産業			1		1			1			1		1			1	1	2		1	1	12	

080101 各種商品卸売業																		1					1
080102 家具・建具・じゅう器等卸売業			1																				1
080109 その他の卸売業	1		1				1					1							3				7
0801 卸売業	1		2				1					1							4				9
080201 各種商品小売業																							
080202 自動車小売業			1											2									3
080203 家具・建具・じゅう器小売業																							
080204 燃料小売業							1					1		1			1						4
080205 新聞販売業																							
080209 その他の小売業		1	1	1			1		2				2	1		1				1	1		12

理サービス業																								
170209 その他	2		1	2	3	1			1		1		1	1			1			1	1		1	17
1702 その他の事業	2		1	2	3	1			1		1	1	1	1			1			1	1		1	18
17 その他の事業	2		1	2	3	1			1		1	1	1	1			1			1	1		1	18
0 全産業	94	76	85	81	70	84	57	61	59	55	37	41	54	53	57	39	47	49	44	51	37	27	33	1,291

出典：<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm> (MHLW, Japan)

屋根、はり、もや、けた、合掌を起因物（小）とする死亡災害事例（2012-2020年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 (小) コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2012	10	～	10 被災者は屋上において、防水設備工事の施工管理の一環として写真撮影をしていたところ、作業床の端（パラペット）を越えて地上に墜落した。なお、地上からパラペットの上端まで約30m。パラペットは、高さ50cm×幅20cmであった。また、被	30209	1	1～ 9

		11	災者は保護帽を着用し、安全帯は着用していたが使用していなかった。			
2012	9	15 ～ 16	被災者は個人住宅の屋根改修工事現場において、屋根からはみ出ている野地板の切断作業を開始し、はみ出ている野地板上がったところ、野地板が折れ、約10m下の地面に墜落した。なお、被災者は、ヘルメットを被っていたが、安全帯は未着用であった。	30203	1	1～ 9
2012	5	15 ～ 16	個人住宅の新築工事において、被災者は2階部分の仮筋交いの取付け準備のため、道具を取りに2階の梁の上を歩行中、梁に渡されたコンパネで作った型枠材に乗ったところ、同コンパネの一部が抜け落ち、約4m下の土間コンクリートに墜落し、後頭部を強打し死亡した。	30202	1	1～ 9
2012	5	13 ～ 14	被災者は梁の上で梁と母屋を固定している釘抜き作業をしていたところ、バランスを崩して高さ約5mから墜落し死亡した。なお、被災者は保護帽、安全帯は着用していなかった。	11301	1	1～ 9
2012	2	8 ～ 9	学校敷地内にあるトレーニングセンター（2階建）の屋根に積もった雪の除雪業務を行うため、被災者が1階の窓をコンパネで覆う作業中、屋根からの落雪が発生し、被災者が落下した雪に埋まった。	30199	4	10 ～ 29
2012	2	11 ～ 12	農作物保管倉庫の屋根の上にて、被災者を含め複数で除雪作業を行っていたところ、突然屋根に積もっていた雪が滑り落ち、その雪とともに屋根の上で作業を行っていた被災者が墜落し、雪に埋もれた。なお、被災者は安全帯等の墜落防止措置を行っていなかった。	170209	1	100 ～ 299
2012	2	7 ～ 8	被災者は同僚と自社倉庫がある敷地内で地主所有の倉庫（D型ハウス）の除雪作業を行っていた。ハシゴを使用し、倉庫の屋根に上がり、約20cm積もった雪の除雪作業を行っていた時、屋根の一部に透明の塩化ビニル波板を張った天窓を踏み抜き、約5m下の倉庫内に墜落。頭等、全身を強く地面に打ちつけ、死亡した。なお、保護具は着用していなかった。	40301	1	10 ～ 29
2012	12	9 ～ 10	倉庫の屋根補修作業において、屋根の葺替えを行うため、複数の労働者で損傷部分を仮固定していた防水材をはがす作業を行っていたところ、そのうち1人が高さ約5mの軒先から墜落した。	30202	1	1～ 9

2012	11	11	木造家屋新築工事現場において、建て方作業中に高さ約4mの梁から墜落した。	30202	1	1～9
2012	3	15	木造平屋の屋根葺き替え工事において、既存の瓦を撤去し、野地板にアスファルトルーフィングを敷いている作業中に屋根の端から約4m下の道路に墜落した。なお、足場等の墜落防止措置はなく、災害発生日は強風警報が発令されていた。	30202	1	1～9
2012	2	10	木造納屋新築工事において、被災者は高さ約6mの位置にある雲筋交いの取付作業を行っていたところ、墜落して地上に激突した。	30202	1	1～9
2012	10	16	被災者は鶏舎の屋根上で屋根の修理を行っている際、プラスチック製の波板を踏み抜き、約3mの高さから墜落し、コンクリートの床に頭部を強打し死亡した。	70101	1	1～9
2012	7	8	木造家屋屋根瓦補修工事のため、被災者がバケツを持ち屋根に登ったところ、バランスを崩して屋根（高さ約4m）から墜落した。	30202	1	1～9
2012	5	9	被災者は鉄骨造の建屋の解体作業において、トタン製の屋根部分の上に乗って、自分の乗っているトタン屋根をサンダーで切断していた。トタン屋根の切断を終えた際、トタン屋根が梁を支点に天秤のように傾き、高さ約10mの屋根から墜落した。	30309	1	1～9
2012	11	10	屋根塗装工事において、ローラーを使って1階トタン屋根の塗装作業を行っていたところ、何らかの原因で高さ約3mの屋根から隣家の駐車場（アスファルト舗装）に転落し、脳挫傷により死亡した。なお、本件住宅の周囲及び屋根上に足場、手すり、親綱等は設けられておらず、被災者は保護帽、安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～9

2012	10	9 ～ 10	被災者は木造建築の2階（高さ約3m）での棟上げ作業中、梁上より落下した。	30202	1	1～ 9
2012	6	9 ～ 10	体育センターの管理運営業務の委託を受けたJVを構成する事業場の所属労働者が、複数名で体育館の照明器具の取り換え作業を行っていたところ、うち1名が作業を行うために乗っていた鉄骨製の梁上からバランスを崩し、天井として張られてた防音板を突き抜け、高さ約20mの体育館床上に落下し死亡した。	150101	1	300 ～
2012	5	11 ～ 12	テント倉庫（最頂部の高さは約8m）のテントの張り替え作業を行っていた被災者は、足をかけていた梁もしくは骨組の上から墜落した。なお、保護帽、安全帯は装着していた。	30209	1	1～ 9
2012	7	11 ～ 12	被災者は、工場屋根のスレートを交換中、スレートを踏みぬき、高さ約7mからコンクリートの床に墜落し、死亡した。なお、歩み板等は設けていなかった。	30201	1	10 ～ 29
2012	11	16 ～ 17	車寄せの屋根に取り付けられたトップライト（格子状にガラスがはめられた明かり取り）のガラスを交換した箇所に、ガラスの枠（幅約6cm）に沿って雨漏り防止のためのコーキング（目地を埋める）を施した。その後、マスキングテープをはがすために被災者がガラスの枠上に登った際、誤ってガラス上に乗ったことによりガラスが割れ、高さ約6m下の地面に墜落した。	30309	1	1～ 9
2012	11	14 ～ 15	被災者は上棟式準備作業中に、高さ約4mの梁から墜落した。ネットなどの墜落防止措置は施されておらず、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30202	1	1～ 9
2012	4	11 ～ 12	被災者はスレート屋根の葺替え作業中、採光のために屋根に設けられた高さ約10mの強化プラスチック部から墜落した。	30201	1	1～ 9
		15				10

2012	4	～ 16	被災者は共同住宅新築工事現場にて屋根部の施工作业中、屋根で足を滑らせて高さ約8mから墜落し、全身を強打した。	30209	1	～ 29
2012	2	～ 16	住宅2階屋根において作業員複数名で屋根の雪下ろし作業中、被災者はスノーダンプを使用して軒先部分の除雪をしていた際、スノーダンプもろとも約8m下の歩道上に墜落した。	30202	1	1～ 9
2012	6	～ 16	倉庫の棟部に設けられた排煙用の開口部の木製ガラリ（羽板）を取り除き、FRP製の波板を取り付ける鉄骨の下地を既存の鉄骨に溶接するため、被災者は当該倉庫のスレート葺き屋根に上って作業していたところ、スレートを踏み抜き、約7m下へ墜落した。	30201	1	1～ 9
2012	7	8 ～ 9	台風により損傷を受けた工場屋根の修繕工事において、取り替えた屋根部材を固定するボルトを本締めする作業を予定していた。被災者並びに同僚の2名で作業を開始したが、その直後に被災者が明り取りとして設置されていたFRP板を踏み抜き、高さ約13mから工場建屋内のコンクリート面へ落下した。なお、親綱は設置、安全帯の装着はあったが、使用されていなかった。	30209	1	10 ～ 29
2012	6	10 ～ 11	被災者は解体工事現場で屋根のスレートをはがす作業中、スレートをはがした後、その下地の木工板にのってしまいこれを踏み抜き、約5mの高さから建屋外側のコンクリート土間に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2012	1	16 ～ 17	被災者は2階屋根上に設置されているテレビアンテナのブースター交換作業を開始した。その約30分後、道路に倒れ頭から出血した被災者が通行人により発見された。被災者の近くには、交換後のブースター器、1階屋根上から2階屋根上に昇降するためのアルミ製のはしご等が落ちていた。なお、屋根の端からの墜落防止措置（安全帽、安全帯等）はなかった。また、当該はしごを固定していた番線が2階屋根上の樋に残っていた。	80209	1	1～ 9
2012	5	11 ～ 12	スレート葺き屋根の修繕工事において、被災者は屋根上に登り雨漏りをする箇所の補修を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜いて約8m下の床面に落下した。	30209	1	10 ～ 29

2012	5	11 ～ 12	営業所の建屋の折板屋根上において、屋根の塗装作業前の高圧水洗浄作業に従事していた被災者は、樹脂製の明り取りの天窓を踏み抜き、約10m下の倉庫内アスファルト床面に墜落し、死亡した。	30309	1	1～ 9
2012	5	10 ～ 11	鋼板葺き工場屋根上に太陽電池パネル（モジュール）を設置する工事において、屋根上に荷揚げしたモジュールを二人一組で運搬作業中、被災者は、誤って屋根上のアクリル製明り取り窓に乗ったため、明り取り窓が同人の体重により破損して約7m下の工場床に墜落し、全身打撲により死亡した。	30302	1	30 ～ 49
2012	4	11 ～ 12	工場屋根葺替え工事に伴うルーフファン取替え工事において、スレート葺屋根上で資材作業をしていた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、約6m下のコンクリート床に墜落し、全身打撲で死亡した。	30302	1	1～ 9
2012	4	8 ～ 9	テント倉庫の屋根修繕工事現場において、被災者がテントシート上で作業していたところ、誤ってシートを踏み抜き、約5m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2012	1	16 ～ 17	雨樋等補修工事において、片付け作業をしていた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、墜落死した。	30209	1	1～ 9
2012	2	8 ～ 9	クラブハウス（2階建て）の屋根から、約6m下の駐車場に墜落した。屋根の端部に手すり等はなく、被災者が着用していたのはヘルメットのみであった。	140301	1	1～ 9
2012	11	11 ～ 12	倉庫新築工事現場において、被災者は屋根の据え付け工事を行っていたところ、全体の半分くらいまで屋根の据え付けが終了した状況で当該屋根の端の細かな補正作業中、約5m下のコンクリート製の床に転落し、死亡した。	30209	1	1～ 9

2012	11	14 ～ 15	被災者は、住宅のウッドデッキの屋根部分に鋼板を貼付ける作業のため、現場に単独で入場した。午後に応援の労働者が、ウッドデッキ前の地面に頭部から血を流し倒れている被災者を発見した。周囲は血まみれで、はしごが倒れており、ヘルメット、靴、道具が散乱していた。病院へ救急搬送されるも意識不明が続き、死亡した。	30203	1	1～ 9
2012	10	16 ～ 17	工場解体工事現場において、足場の組立作業を行っていた被災者は、解体予定の工場のスレート屋根上を移動中、明り取りの塩化ビニル波板を踏み抜き、約8mの高さから工場床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	8	7 ～ 8	工作所の工場のスレート屋根上で、雨漏り補修のため、波鉄板を敷き込む作業中、スレートを踏み抜き高さ約5mから墜落し、死亡した。	30209	1	1～ 9
2012	8	8 ～ 9	暑さ対策のため、工場屋根に散水機及びホースを設置するために事務所2階の窓から登って作業をしていたところ、スレート屋根の明り取り部分の波板を踏み抜き、約7m下の工場土間コンクリートに墜落して死亡した。	11301	1	1～ 9
2012	12	14 ～ 15	2階建て木造家屋建築工事現場において、移動式クレーンを使用して2階の外壁材（木材）を搬入中、つり上げていた外壁材が風の影響で揺れ、2階壁部の上枠の上に立っていた被災者がそれを回避しようとしたところ、約2.5m下の2階床面に墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2012	4	14 ～ 15	被災者は倉庫の屋根点検作業中に、高さ約6mの位置から墜落した。	30209	1	1～ 9
2012	11	13 ～ 14	集じんダクト補修作業に、被災者と同僚2名の計3名が従事していた。工場屋根上にある集じんダクトのフランジを外す作業に必要なガムテープとナイロン袋を取りに被災者が一旦地上に下りて、再びスレート屋根に上がり補修現場へ向かおうとしたところ、スレート屋根を踏み抜き、約8m下の工場床面に墜落し、死亡した。	10409	1	1～ 9
		11	民家の外壁塗装工事現場の高さ約3.63mの銅板葺きの軒屋根上で、塗装作業において付着したペンキ等の汚れを取る作業を			

2012	3	～	行っていた被災者は、足場の脚部で外壁にもたれるような姿勢で、この家の住人によって発見され、病院へ救急搬送されたが、延髄損傷で死亡した。	30202	1	1～ 9
2012	2	9 ～ 10	焼却場として使用していた既存建物の2階部分を解体撤去する工事において、1階のスレート屋根の上を移動していた被災者は、スレート屋根を踏み抜き、約7mの高さからコンクリートの地面に墜落し死亡した。	30201	1	1～ 9
2012	8	10 ～ 11	住宅改修工事において、壁の塗り替え作業の手伝いとして屋根上で壁材等の受け渡しを行っていた被災者は、軒の高さ2.5mの屋根上から墜落した。作業は事業主と2人で行われ、壁を塗る作業をしていた事業主の後方で大きな音がしたため（事業主が）振り返ると、被災者が地面に墜落していた。被災者は材料の受け渡し後、屋根上で待機していたが何らかの原因で墜落した。	30209	1	1～ 9
2012	1	9 ～ 10	木造3階建て個人住宅新築工事現場において、3階床はり上を移動中、約7m下に墜落し、頭を強打し死亡した。	30202	1	1～ 9
2012	2	16 ～ 17	木造平屋建ての廃工場の解体作業中、被災者が梁上を移動していたところ、約5mの高さから地面へ墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2012	7	9 ～ 10	工場のスレート葺き屋根上で、歩み板を設ける等の危険防止措置を講じることなく、傷んだスレート板の取替作業を行っていたところ、被災者はスレートを踏み抜いて約5m下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2012	9	10 ～ 11	木造2階建て新築工事において、被災者は2階の梁を取り付ける作業で梁の上を掛矢を持って移動していたところ、バランスを崩し、高さ約4mの梁から墜落した。	30202	1	1～ 9
		14	店舗敷地の隣接地に生えている雑木が建物に干渉するほどに生い茂ったため、被災者がチェーンソーで伐倒したところ、当該			30

2012	5	～	伐倒木が建物に寄り掛かって止まった。被災者が建物の屋根に上り、寄り掛かった伐倒木を両手で揺すっていたところ、誤って約5mの高さから墜落した。	10901	1	～	49
2012	10	11 ～ 12	牛舎のスレート屋根の補修工事を行うため、被災者和其他の労働者がスレート屋根の上に乗る、補修方法を話し合っていたところ、被災者がスレート屋根を踏み抜き、約5.6m下のコンクリート床に墜落した。	30201	1	1～	9
2012	8	13 ～ 14	平屋建て堆肥2次発酵施設屋根の雨漏りを防ぐための工事中、スレート屋根の上で作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、約6.5mの高さから墜落しコンクリート床に頭部を強打し死亡した。	11709	1	1～	9
2013	3	11 ～ 12	被災者は、ガソリンスタンドの給油場所の上に架かっている屋根の上で、雪下ろし作業中、天窗のガラス（幅94cm、長さ1m69cm、厚さ6.8mm）を突き破り、7.5m下の地面に墜落した。	80204	1	10	～ 29
2013	8	11 ～ 12	被災者は、個人住宅改築工事現場において、アスファルトルーフィング（以下、「ルーフィング」という。）を敷く作業後に屋根上を移動していたところ、ルーフィングによって隠れていた（印はつけられていた）天窗設置予定の開口部（80センチ×80センチ）からルーフィングを突き破って屋内床へ約4メートル墜落した。	30202	1	1～	9
2013	7	15 ～ 16	被災者は、一般住宅の屋根（傾斜角度45度）の張り替え作業を行っており、屋根上に設置したはしご（木製）を降りていたところ、「雪止めストッパー」1個で屋根に固定していたはしごが、雪止めストッパーとともに屋根から外れたことにより地面に墜落した。尚、被災者は安全帯を使用せず、保護帽も着用していなかった。	30209	1	1～	9
2013	10	9 ～ 10	被災者は、個人住宅の屋根改修工事現場において、嵩上げた屋根部にトタン板を取付ける作業に従事していたところ、屋根の端から約7.3m下の地面へ墜落した。目撃者はいないが、被災者は、下屋又は張出し足場へ墜落し、さらに地面（隣の敷地）まで墜落したものと推測される。尚、保護帽、安全帯は着用していた。	30209	1	1～	9
2013	10	9 ～	被災者は、スキー場のロッジ（3F建て）の屋根の改修工事において、ルーフィング作業を行っていたところ、屋根の端から	30209	1	1～	

		10	1 F 屋根に墜落した（高さ約8メートル）。			9
2013	6	9 ～ 10	被災者は、工場の屋根の補修工事において、補修部材を持って、厚さ5mmのスレート波板の屋根の上を補修箇所に向かって移動中、スレート波板を踏み抜き約8.4m下のコンクリートの床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	9 ～ 10	一般住宅の屋根塗装の下準備として、2階屋根上において屋根についた水滴を拭く作業を行っていた際、高さ5.8mの屋根の端から地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	7	9 ～ 10	物置（平屋建）新築工事現場において、梁と桁に足を掛けて火打梁を固定する作業に従事していた被災者は、3.3メートル下方のコンクリート基礎まで墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	倉庫一部増築工事現場において、被災者等計5名で現場作業中、被災者は高さ約7.8mの鉄骨からコンクリート床上に墜落した。被災者が墜落する状況を目撃した者はいない。墜落後、同僚がコンクリート床に倒れていた被災者を発見した。	30201	1	10 ～ 29
2013	7	11 ～ 12	2階建住宅の屋根塗装作業現場で、作業員2人により塗装作業を行っていたところ、手塗により塗装作業を行っていた被災者が、誤って高さ6.2メートルの軒先から墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	2	9 ～ 10	工場屋根の除雪作業において、被災者は高所作業車のかごから屋根の雪庇部に乗り移り雪庇上を歩行中、突然雪庇が崩れ、雪とともに約8.5メートルの高さから墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2013	2	13 ～	工場の折板（鋼板）屋根の明りとり窓部の修繕工事現場において、被災者は現場責任者の指示を受けて、材料を取りに行くため折板屋根上を移動し、屋根上の材料荷揚げ箇所まで来た際、1m（折板2枚分）後ろにあった明りとり窓部から約9.4m	30202	1	1～

		14	下の工場内床面に墜落した。尚、明かり窓の材質はポリカーボネードで、折板とは異なり、人が上げられる強度は有していない。				9
2013	12	9 ～ 10	堆肥舎の屋根（塩化ビニル製波板）の葺き替え作業中、休憩のため屋根から降りようとした際、歩み板を踏み外したため、当該屋根を踏み抜き、約6mの高さから墜落した。	30209	1		1～ 9
2013	8	14 ～ 15	事業場（店舗）のひさしの上で、壁面に広告用横断幕（7m）を取り付けるため、後退りしながら同横断幕を広げていたところ、誤ってひさしの端部から足を踏み外し、4m下の地面（アスファルト舗装）に墜落し、頭部を強打する等により死亡した。尚、被災者は安全帯を使用していなかったほか、保護帽を被っていなかった。	80202	1		30 ～ 49
2013	8	9 ～ 10	事業場の屋根を塗装するため、2名でスレート屋根上に上り、ワイヤー付のデッキブラシと箒でスレート上面の汚れ落とし作業をしていたところ、被災者はスレート屋根を踏み抜き、高さ5.3mの位置から鉄板敷きの床面に墜落した。	30309	1		1～ 9
2013	10	11 ～ 12	被災者は、台風の後で冠水していた図書館の屋上から水を抜きに上った後、同様に図書館玄関の庇にも水が溜まっていたに気づき、庇から約1.5m離れた軒天に2階休憩室の窓から降りた際、足を滑らせ転倒し、高さ3.6mの軒から地上へ転落した。	120109	1		300 ～ 499
2013	10	10 ～ 11	工場の屋根改修等の工事において、被災者が作業場所に移動中、スレート屋根を踏み抜き、約1.3m下の配管に激突後、更に3.5m下の倉庫屋根に墜落した。	30209	1		1～ 9
2013	6	11 ～ 12	木造2階建て一般家屋の解体工事を作業員3名で行っていた。2名が2階の屋根上に上がり、野地板の撤去作業を行っていたところ、1名が約5.8m下の地面に墜落した。	30202	1		1～ 9
2013	12	13	被災者は、地上約2.5mの屋上で屋根折板を高圧洗浄機を使用して洗浄作業中、屋根端部から墜落した。屋根端部パラペットは20cm～90cm程の高さしかなく、手すりや親綱などの墜落防止措置はなされていなかった。尚、工事関係者の目撃者	30209	1		1～

		14	はいない。			9
2013	10	8 ～ 9	被災者は、網入り塩化ビニル製波板の屋根の取り外し作業を行うため、屋根の上に上り作業を行おうとしたところ、踏み抜いてしまい、高さ2.7メートルからコンクリート製の床に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	3	10 ～ 11	民家の太陽光パネルを4名で屋根に上り設置中、高さ約6mの屋根から墜落した。墜落時の状況を見ている者はおらず、被災者は、墜落位置真上の屋根上でパネルの金具の取り付け作業を行っていた。	30309	1	10 ～ 29
2013	12	16 ～ 17	被災者は、豚舎の壁の隙間をビニールカーテンで貼り付けるため屋根に上り作業中、屋根の端でビニールカーテンの余った部分をカッターを使用してカットしようとしていたところ、高さ2.5mからコンクリート地面に墜落した。	70101	1	1～ 9
2013	2	9 ～ 10	被災者は、事務所の増築工事において、2階分の組み上がった鉄骨上にデッキプレートを移動式クレーンを用いて搬入していた。2階屋根部分の鉄骨梁上で交差筋交いを付け外ししていたところ、約8m下の地上まで墜落した。	30201	1	1～ 9
2013	1	11 ～ 12	被災者は、木造家屋のじょうご取り付け等の作業の際、2階屋根の端（高さ5.5メートル）から隣接する民家の敷地内に墜落した。	30202	1	1～ 9
2013	9	14 ～ 15	被災者は、屋根の上での防水工事において、雨漏りする箇所を探していたところ、足下の明かり取り（建物内に日光を取り入れるために屋根に取り付けられた透明な板）を踏み抜き、約5メートルの高さから墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	9	13	被災者は、民家の屋根の塗装作業をしていたところ、屋根の移動中に6メートルの高さから墜落した。	30209	1	1～ 9

		14				
2013	11	14	4階建アパート屋上の防水工事を行っていたところ、被災者が屋上のパラペットを越え1.2m墜落し、死亡した。尚、屋上には高さ32cmのパラペットがあるだけで、足場、手すり、親綱等はなかった。また、被災者は工具を入れるため安全帯を着用していたが、保護帽は被っていなかった。	30209	1	1~9
2013	12	9	木造2階建建築現場において、大梁と大梁の繋ぎ材の取り付け作業中、高さ約3.2メートルの大梁の上から墜落し、コンクリートの床に頭を強打した。	30202	1	1~9
2013	5	13	鉄骨造の工場解体工事において、屋根の解体作業を行うため、被災者は母屋のガス溶断作業を行っていた。被災者は、母屋の不切断箇所を発見したため、頂部付近（高さ10.7メートル）に上がって母屋のガス溶断作業中、コンクリート床面に墜落した。	30201	1	1~9
2013	6	16	マンション屋上において、被災者は他2名と共に、防水下地シートを取り付けたパラペット部分及び塔屋部分へのL型鋼板を取り付けていた。一通り作業を終え最終確認のため、被災者が、塔屋付近で固定し忘れたL型鋼板をビス（ネジ）止めしていた際、誤って同マンション屋上東側のパラペット部分から、約1.5m下の敷地駐車場に墜落した。	30209	1	10~29
2013	6	16	被災者は、勾配32度の屋根面上で屋根葺き作業を行っていた際、雨で濡れた屋根面で足を滑らせ、高さ3.7mの屋根面から高さ3.5mの足場板上に滑り落ち、更にそのまま足場板上から地面に墜落した。	30202	1	1~9
2013	1	11	被災者は、木造平屋建て公民館の新築工事現場において、大工・クレーンオペレーターなど7名と共に、建前を行っていた。柱・桁・梁を組立てた後、幅12cmの梁上で小屋梁を支えるための束を設置していたところ、約3.5m下に墜落し頭を強打した。尚、ヘルメットは着用していたが、安全帯は使用していなかった。	30202	1	1~9
2013	3	9	2階建て民家の太陽光パネル設置工事現場において、被災者が太陽光パネル取付用の金属製支持瓦を設置するため、ひさし付近の屋根瓦を取り外していたところ、何らかの理由で約6m墜落した。	30302	1	1~9

2013	1	13 ～ 14	3階建住宅のソーラーパネル設置工事において、カラーベストを葺いた屋根（傾斜25度）の上を、架台への取付金具の入った手提げかばんを持って歩いていた被災者（元請現場責任者）が、自身がコーキング材で修復したカラーベストを踏み、カラーベストがずれて態勢を崩し、ブラケット足場に滑り落ち、そのまま仰向けの状態で地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	7	13 ～ 14	被災者は、木造平屋建て新築工事の屋根工事において、屋根上にて垂木を取付ける作業中、誤って高さ約5メートルの位置からコンクリート製の土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2013	3	7 ～ 8	2階建て個人住宅の屋根瓦の塗装作業のため、外部足場から2階屋根に登ったところ、当該屋根から約2.7メートル下のベランダに墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	6	11 ～ 12	被災者（工場長）を含めて数名で、工場外壁と周辺にある草、蔓を除去していた。作業後、被災者は、工場のスレート屋根を踏み抜いて墜落した。尚、被災者が、スレート屋根に上った理由は不明であるが、以前からスレート屋根からは雨漏りが発生していた。また、工場の外側には、移動式のはしごが立て掛けられていた。	11209	1	10 ～ 29
2013	10	10 ～ 11	個人宅の塗装工事において、1階屋根（1階床面から約2.6メートル、玄関階段下から約6メートル）で作業をしていた被災者は、屋根から玄関階段まで墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	13 ～ 14	工場解体工事現場において、スレート屋根上でスレートを外す作業を行っていたところ、グラスファイバー製の明かり取りを踏み抜き、約6メートル下に墜落した。	30209	1	50 ～ 99
2013	7	10 ～ 11	高さ約4.2メートルの庇の端に設置されている冷蔵庫の室外機について、冷媒の充填作業を行っていたところ、誤って墜落した。	30302	1	1～ 9

2013	2	9 ～ 10	工場の屋根上において、雨漏り補修工事で被災者が天窓の取り替え作業中、古い天窓を引き抜こうとしたところ、足元付近の母屋が折れて約20m下の床面へ墜落し、死亡した。尚、災害発生時、被災者は保護帽及び安全帯を着用しており、親綱も設置していたが、安全帯は使用しておらず、防綱も設置していなかった。また、歩み板については一部にのみ設置していた。	30209	1	1～ 9
2013	10	8 ～ 9	アーケード改修工事現場にて、老朽化した屋根を撤去する作業に取りかかるにあたり、設置していた親綱に安全帯を取り付けようとした際、バランスを崩し老朽化した屋根の上に倒れ込み、屋根材であるポリカーボネート波板が割れて、約8.2m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	11	16 ～ 17	納屋屋根葺替工事において、被災者は、高さ5m以上の屋根上で瓦屋根の葺き替え作業を行っていた際、屋根から墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	9 ～ 10	倉庫解体撤去工事現場において、飛散防止用のための養生シートを建物外周の単管足場に取り付ける作業を、被災者は上部、同僚は下部に分かれて行っていた。被災者は、上部のシートを取り付け終了後、スレート屋根上で使用しなかったシートを片付けていたところ、明かり採り用のアクリル製の波板を踏み抜き、約4.3m下のコンクリート土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	8	13 ～ 14	鉄骨2階建ての民家の解体現場において、高さ約5.8メートルの屋上部分の壁にまたがり、2階の天井の梁部分の鉄骨をガスパナーで切断していたところ、2階の天井が崩れ落ち、崩れ落ちた天井とともに民家1階部分の瓦礫の上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	12	16 ～ 17	木造家屋新築工事現場において、棟上げ中の建屋内部、高さ3.4mの梁の上で、ヘルメットを着用し、安全帯未使用で釘打ち墨出し作業を行っていたところ、梁の上から地上の基礎コンクリート上に転落した。	30202	1	1～ 9
2013	11	10 ～ 11	工場屋根上において、太陽光パネルの設置工事のため、ケーブル配線を持って移動していた被災者は、屋根上の一部に設けられた明り取り用のプラスチック製波板箇所を踏み抜き、約8.7m墜落した。尚、被災者は、床面から約3.8メートルの高さまでパレット積みされた飼料上に1度当たってから、床面まで墜落したものと推測される。	30301	1	1～ 9
		15	被災者は、S造平屋倉庫（最高高さ12メートル）のスレート屋根の雨漏り補修工事に従事していた。スレート屋根の雨漏り			

2013	6	16	箇所（約50箇所、穴直径1センチメートル程）を補修材（コーキング剤）で埋める作業を行っていたところ、スレート屋根（厚さ：5mm）を踏み抜き、7メートル下の倉庫内プレハブ事務所上に墜落した。	30209	1	1～9
2013	7	11～12	建物等の状況の確認に訪れた際、車庫に雨漏りがあることを聞き、車庫の屋根の雨漏り箇所の状態を3名の労働者で確認していた際、被災者は、一人で当該車庫の西面のスレートでふかれた屋根に上った。その後、屋根上の被災者が、足元のスレートを踏み抜き、約6メートル下の車庫のコンクリート床面に墜落、頭部を強打した。	90103	1	1～9
2013	6	16～17	ショールームの天井から雨漏れの連絡があり、被災者が屋外展示場の屋根で、雨漏り箇所の確認や補修作業を行っていたところ、ガラスを踏み抜き、約6.3m下のアスファルトに墜落した。尚、屋外展示場の採光のため、屋根の一部がガラスとなっていた。	80202	1	50～99
2013	4	16～17	木造2階建家屋の屋根瓦葺替え工事において、1階屋根軒先部分の野地板を取り替えるため、古い板を取り外し、垂木に載りホウキで清掃していたところ、足を載せた垂木が取り付け部から曲がり、バランスを崩し転落した。被災者が足を載せた垂木は、隅木近くで軒桁に支えられておらず、作業者の体重で曲がった。尚、作業場所に作業床は設けられておらず、転落を防止する安全帯は使用していなかった。また、保護帽も着用されていなかった。	30202	1	1～9
2013	11	9～10	太陽光パネル設置工事において、屋根上で作業を行っていた被災者は、明り取り用のガラス窓を踏み抜き、約9m下の倉庫内コンクリート路面に墜落した。	30302	1	1～9
2013	10	11～12	被災者は、スレート屋根の上で作業を行っていたが、スレートを踏み抜き、3メートル墜落した。尚、被災者は、保護帽は着用していたものの、安全帯は着用しておらず、歩み板も使用していなかった。	30209	1	10～29
2013	9	15～16	新築工事現場において、屋根上で作業員4名が瓦葺き作業を行っていたところ、被災者が足を滑らせ、屋根の端部から約2.5メートル下の地面に墜落した。	30209	1	1～9

2013	5	19 ～ 20	工場の屋根の張替え工事において、被災者は、屋根に上り既存の屋根材（折板鋼板1枚：幅0.66m、長さ12.5m）を解体する作業を行っていた。解体のため屋根材を切断した箇所に乗ったところ、屋根を踏み抜き、10m下の地上（アスファルト）に墜落した。	30209	1	1～ 9
2013	10	13 ～ 14	倉庫の屋根（スレート葺）に設けられている27か所の採光箇所のうち13箇所について、波板の葺き替え作業を行っている際、当該波板を踏み抜いて墜落した。尚、墜落した箇所の高さは約10mであった。	30209	1	1～ 9
2013	6	16 ～ 17	住宅新築工事現場において、2階リビングの内装作業中（はりの下塗り作業）、約3メートルの高さのはりから墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	12	15 ～ 16	1階の屋根上にて、2階屋根の軒先付近に張り出した雪をスコップで突き落とそうとした際、雪止めが外れていた2階屋根上の雪が大きな塊となって落下し、落下した雪とともに1階屋根上から滑落。頭部を下にした状態で雪中に埋もれ、低酸素脳症により死亡した。	80209	4	1～ 9
2014	12	13 ～ 14	住宅屋根雪下ろし作業中、蔵屋根から誤って墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
2014	12	15 ～ 16	鉄骨組立作業中、桁の上を移動していたところ、バランスを崩し、約8メートル墜落した。	30201	1	1～ 9
2014	11	17 ～ 18	2階建木造住宅新築工事現場にて、2階梁上で根太を並べる作業中、下のコンクリート床へ墜落した。	30202	1	1～ 9
		10				

2014	11	11	鉄骨造平屋のスレート屋根の上にて、屋根の補修作業中、スレート屋根を踏み抜き、コンクリート床に墜落し、死亡した。	11709	9	1～ 9
2014	11	13 ～ 14	梁又は梁の上に敷いたコンパネ上で屋根工事中、開口部（梁とコンパネの間）から墜落した。尚、被災者はヘルメットを着用していたが、安全帯は使用していなかった。また、作業現場には防網は持ち込まれていたが、使用していなかった。	30202	1	1～ 9
2014	10	13 ～ 14	工場建屋屋根張替え工事現場にて、屋根上で屋根材の張替え作業中、屋根の下地材である木毛板を踏み抜き、建屋内床に墜落し、死亡した。尚、被災者は安全帯を着用していたものの、使用しておらず、親綱の設置、歩板の設置も無かった。	30209	1	1～ 9
2014	10	16 ～ 17	調理部屋にて、明かり取り用の窓に日差しよけビニールを付けようと脚立を使い、梁に上がったところ、転落。頭部を強打し、死亡した。	150101	1	50 ～ 99
2014	10	11 ～ 12	スレート葺きの屋根上にて、スレートの破損部分の補修作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、コンクリート床に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2014	9	14 ～ 15	建物のスレート屋根解体作業中、スレート屋根上を移動していたところ、スレート屋根を踏み抜き、コンクリート床面まで約8メートル墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2014	8	8 ～ 9	屋根雨漏り補修工事にて、梯子から屋根に移ろうとした際、バランスを崩し、3m下の地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
		14	バス用車庫にて、車庫屋根の明り取り部分の波板を張り替える作業を行っていたところ、スレート波板の屋根を踏み抜き、			1～

2014	8	～ 15	3. 6メートル下のコンクリート床に転落した。	140101	1	9
2014	8	16 ～ 17	木造2階建の建屋の解体工事にて、屋根のスレート瓦を撤去する作業中、建物の周囲に設置された足場の手すりと屋根の間から下の止められていたダンプの荷台の中に墜落した。	30201	1	50 ～ 99
2014	8	9 ～ 10	小屋の屋根に上がり、剪定をしていた被災者は、4. 5 m下に墜落し、死亡した。	60101	1	1～ 9
2014	7	14 ～ 15	スレート葺き鉄骨造倉庫の屋根塗装作業中、屋根頂部付近でスレートを留めるボルトに錆止め塗装を行っていた被災者は、スレートを踏み抜き、約8. 7 m下のアスファルト床面に墜落した。	30209	9	1～ 9
2014	7	11 ～ 12	体育館解体工事にて、屋根の鉄板を移動式クレーンで剥ぎ取っていたところ、鉄板を剥ぎ取り、木毛セメント板のみになっていた箇所から、被災者が木毛セメント板を踏み抜き、9. 3 m下のコンクリート土間に墜落した。	30309	1	1～ 9
2014	7	13 ～ 14	スレート屋根材を取り外し中、被災者は、スレート屋根に上り屋根を移動中、明かり取り部分を踏み抜き、約6. 5 m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	6	15 ～ 16	屋根に登り、屋根材であるスレートの取り外し作業を行っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約4. 6メートル下のコンクリート地面に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2014	6	18 ～	マンション外壁改修工事現場のマンション屋上にて、被災者がゴンドラをつりワイヤーロープ、垂直親綱及び電源コードの引	30201	1	50 ～

		19	き揚げ作業を行っていた際、マンション屋上から転落し、死亡した。				99
2014	6	10 ～ 11	高さ6.3mの屋根瓦の端にて、コーキング打ち作業を行っていたところ、足を滑らせ墜落し、死亡した。	30202	1		10 ～ 29
2014	6	16 ～ 17	被災者は、スレート屋根上に上り作業をしていたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約4.9mコンクリートの床面に墜落した。	30209	1		1～ 9
2014	5	9 ～ 10	スレート屋根上の隙間を発泡ウレタンで埋める作業を行っていた際、スレート屋根を踏み抜き、約6メートル下の地面に墜落し、死亡した。	30209	1		10 ～ 29
2014	5	16 ～ 17	一時的に垂木に設置していた部材を取り外していたところ、バランスを崩し、梁の上からコンクリート製基礎まで墜落した。	30202	1		1～ 9
2014	5	11 ～ 12	2階建て木造家屋改築工事にて、1階屋根部分の瓦を葺く作業のため、屋根上を歩行中、屋根から3.61m下の地面に墜落した。	30202	1		1～ 9
2014	5	13 ～ 14	自動車整備工場の塗装ブース設置工事にて、被災者は、屋根の端に立ち、ダクトの部品を屋根に上げ、ダクトの取付場所に向かい歩み、板及びトタンの上を通行していたところ、転倒し、トタンの横のスレートを踏み抜き、墜落した。	30302	1		1～ 9
2014	4	9 ～	スレート葺の屋根に上り、設備の設置位置の確認のため、墨出し作業を行っていたところ、被災者は、屋根頂部付近よりスレート屋根を踏み抜き、約6.9m下に墜落した。	30301	1		1～ 9

		10				
2014	4	14 ～ 15	屋根の塗装工事中、瓦屋根の端（高さ3m48cm）から墜落した。	30203	1	1～ 9
2014	3	10 ～ 11	単管で組まれた車庫の屋根波板貼り下地木材設置作業中、体勢を崩し、梁部からコンクリート地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	3	11 ～ 12	スレート屋根の解体作業を行っていた際、被災者はスレート板を踏み抜き、約4.5m下の土間に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	3	17 ～ 18	工場（鉄骨造）の屋根（面積約1000平方メートル）に太陽光発電パネルを設置する工事を、被災者他2名にて行っていたところ、被災者は、屋根の明り取り用天窗（ガラス葺）を踏み抜き、9メートル下の床に墜落し死亡した。	30309	1	1～ 9
2014	3	16 ～ 17	2階の資材置場の窓から工場の屋根に上がっていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約5.7mの高さから墜落した。	10401	1	10 ～ 29
2014	2	16 ～ 17	防水改修工事にて、屋上で防水シートの下地（糊）の剥ぎ取り作業を行っていた被災者は、サンダーを接続した延長コードを持ち屋上を後ろ向きに移動していたところ、屋上の立ち上がり部（高さ23センチ）を超え、7メートル下のタイル貼り面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2014	2	16 ～ 17	スレート屋根葺き建物の漏水調査のため、屋根に上がり、スレート板上を歩行していたところ、スレート板を踏み抜き、約6m下へ墜落した。	30209	1	50 ～ 99

2014	2	14 ～ 15	木造平屋建て事務所の新築工事現場にて、被災者は同僚と6名で、幅11cmの梁及び梁と梁の間に架け渡した幅24cmの足場板の上で、雲筋と呼ばれる柱や梁の歪みを防止するための筋かいを取り付ける作業を行っていたが、バランスを崩し、3.05m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2014	2	11 ～ 12	被災者は、他3名の作業員とともに、同寺院会館の片流れ形状の屋根（幅22.5m、奥行16.15m、高さ最高約9.4m、最低は軒の約4.4m）の端（軒付近）で雪庇を降ろしていたところ、突然、滑り落ちた屋根雪とともに軒下に落下し、他1名とともに埋もれ、窒息により死亡した。	30209	1	1～ 9
2014	1	10 ～ 11	外壁の防水、屋根及び壁の塗装工事の一環として、足場3層目の高さに位置するスレートひさし上でシーリングの打設を行っていた被災者は、バリ取りに用いるハンドカッターを1階に置き忘れたため取りに戻り、再度スレートひさし上の作業場所に戻ろうとした際、スレートひさしを踏み抜き、コンクリート地面まで5.5メートル墜落して死亡した。	30209	1	1～ 9
2014	1	9 ～ 10	リフォーム工事にて、工事現場の隣家敷地内で労働者が倒れているところを発見された。目撃者なし。	30209	1	1～ 9
2014	1	9 ～ 10	鉄骨スレート屋根の倉庫解体工事にて、被災者は、80cm間隔で設けられた母屋材に足を乗せスレート材（181cm×71cm）を外す作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、約7m下のコンクリート床に墜落した。尚、被災者が直前にいた場所には足場板（幅24cm、長さ400cm）が1枚あり、墜落によってできた開口部は縦約80cm、幅約130cmであった。	30209	1	1～ 9
2014	5	9 ～ 10	外壁等改修工事にて、被災者は、鉄骨造の躯体から約1メートル外に張り出している、高さ約7.8メートルの屋根の強度を調査するため（屋根に）登ったところ、崩壊し、当該屋根と共に墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2015	2	11 ～	中学校の体育館の屋根周囲の雨水配水管の排水口（ドレン）に堆積した落葉等の清掃作業を2名で行っていたところ、被災者が西側の屋根から約11メートル下の公道上に墜落し死亡したものである。なお、同作業は同日のみで終了する予定であっ	150101	1	1～ 9

		12	た。			
2015	8	0 ～ 1	SRC造り6階建のパチンコ店舗解体工事現場において、鉄筋切断機（解体用機械）を用いて1階天井の大梁（H鋼）と小梁（H鋼）を解体作業中、まず大梁を解体するため、鉄骨切断機で当該大梁をつかみ回転させたところ、その反動で当該大梁に取り付けられていた小梁（長さ6.77m、高さ44cm、幅20cm、重さ約500kg）の一つと一緒に動き落下し、下方にいた被災者に当たったもの。	30201	4	1～ 9
2015	4	8 ～ 9	屋根の張り替え工事現場において、被災者が下地材に固定されていない屋根材の上に乗った結果、当該屋根材（スチール製）とともに、約5.2メートルの高さからコンクリートの床に墜落した。ドクターヘリにて病院に搬送され、入院し治療を受けていたが、11日後（5月3日）に死亡した。	30209	1	1～ 9
2015	7	15 ～ 16	4階建のショッピングセンターの屋上にある高架水槽の配管の保温工事において、作業者が高架水槽の建屋の屋上から、4.15メートル下のショッピングセンター屋上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2015	9	9 ～ 10	太陽光発電設備設置工事の準備のため、屋根上で材料の運搬をしていたところ、被災者が明かり取り用の窓を踏み抜き、8メートル下のコンクリート地面に墜落し、死亡したもの。	30302	1	1～ 9
2015	9	13 ～ 14	高さ約6メートルの箇所垂木の取付け作業を行っていた時、垂木の端から地上に墜落した。被災者は、平成27年9月3日、搬送先の病院で死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2015	10	15 ～ 16	庫裡建築工事において、梁の上で被災者と同僚の2名で、他の梁を取り付け、その後、クレーンの運転手が梁を吊っていたクランプを上げたところ、クランプの一つが取り外されていなかったため、梁が持ち上がった。持ち上がった梁に足を掛けていた被災者はバランスを崩し、高さ3.86m下のコンクリート面に墜落した。その後、病院に搬送されたが、脳挫傷等により同日午後11時49分に死亡した。	30202	1	1～ 9
		14	木造2階建て住宅屋根修理工事において、被災者がはしごに乗ったまま南側1階屋根の古いしっくい除去作業を終えた後、一			

2015	10	15	旦地面に下り、しっくいが入ったバケツを持ってはしごを昇り屋根上に上がって移動していたところ、足を滑らせ2.95m下の砂利敷きの地面に墜落した。	30202	1	1~9
2015	4	16	幼稚園建替え工事において、防音パネルの設置を行う作業に従事していた被災者が、1F屋根上で防音パネルの受け渡しをしていたところ、足を滑らせ、屋根妻側端部より墜落、頭がい骨骨折及び第7胸骨骨折により病院に運ばれるが、4月21日午前11時に死亡が確認された。	30209	1	1~9
2015	5	8	会社事務所兼工場建屋のスレート屋根の屋根材取替作業の準備作業のため上を移動中、明かり取りのためにふかれたFRP製の屋根材(厚さ約1mm)を踏み抜き、墜落(高さ6.6m)した。(5月23日病院で死亡)	30203	1	1~9
2015	4	9	木造2階建て一般家屋の屋根塗装中に発生した災害。被災者が、ローラーを用いて塗装作業を行っていた時に、高さ6.2メートルの屋根から滑り落ち、2階ベランダ手すりに当たった後に、地面に墜落したもの。療養していたが、平成27年11月22日に死亡した。	30202	1	1~9
2015	12	9	10階建集合住宅改修工事現場において、不要となった仮設電線を撤去するため屋根上で作業を行っていた被災者が、1階床から屋根上まで約30mの吹き抜けとなっている箇所の1階床に倒れているところを発見された。吹き抜けの屋根上開口部から墜落したものと推定する。	30203	1	1~9
2015	1	13	個人住宅の解体工事現場において、2階の屋根の上で瓦おろし作業を行っていたところ、被災者の姿が見えなくなったため、同僚が被災者を探したところ、地面に墜落した被災者を見つけた。被災者は、発見時に口と鼻から出血があり、病院に搬送された後、死亡した。被災者はヘルメットを着用していたが、飛来・落下物用兼電気用のものであり、墜落時保護用のものではなかった。墜落時の衝撃により、ヘルメットには割れが生じた。	30209	1	1~9
2015	5	8	民家駐車場の屋根改修作業(塩ビの屋根材を張り替える等)にて、作業手順等を決定するため屋根梁上にしゃがんでいた被災者が、バランスを崩してしりもちをつき、手で屋根材を破損し、3.1m下のコンクリート上に墜落したもの。治療を受けていたが5月27日早朝に肺炎を直接原因として死亡した。保護帽は着用していた模様。	30209	1	1~9

2015	3	9 ～ 10	個人住宅の屋根瓦葺き替え工事現場において、被災者は作業員4名とともに屋根上で瓦を剥がし、地上に停めたトラックの荷台に降ろす作業をしていたところ、約2.14m下の地面に墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2015	7	11 ～ 12	農作業小屋のトタン屋根張替工事において、トタンを取り外すために被災者がトタンの上にあがり、トタンを固定しているボルトを外していたところ、トタンが被災者を乗せたまま屋根（勾配32度）から落下し、約4.5mのコンクリート面に激突した。その後病院に搬送され治療を行っていたが、7月18日に多発外傷により死亡した。	30209	1	1～ 9
2015	9	13 ～ 14	菓子製造会社の工場の増築工事のため、木造建築を行っていた大工である被災者が、屋根上にて垂木にまたがり、下地となる木製板（野地板）を垂木にはり付ける作業を行っていたところ、垂木（3.9cm×8.9cm）が折れ、4.4m下のコンクリート地面に墜落し、全身を打撲し肺血腫により死亡した。被災者は保護帽をしていなかった。墜落防止措置は講じられていなかった。その後の調査により労働者であるとの判断に至った。	30209	1	1～ 9
2015	1	8 ～ 9	被災者は、社会福祉施設の新築工事現場において、午前7時30分頃から、1人で高さ約12メートルの3階屋根（庇）上で、屋根の付け根に「水切り」を取り付ける作業を行っていた。その付近に安全帯を取り付ける設備はなかった。午前8時10分、当該屋根の下を通りかかった別の作業者が、地面に倒れている被災者を発見した。被災者は、頭から血を流しており救急車で搬送されたが、午前9時20分頃に死亡が確認された。	30201	1	1～ 9
2015	1	8 ～ 9	二階建住宅の増改築工事において、一階屋根の上で配線を取り外す作業を行っていたところ、約4m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2015	10	11 ～ 12	事業場敷地内にある足場に屋根を取り付けるため、隣接する建物の屋根上において作業中、高さ約4メートルの同屋根上から地上に墜落した。	170209	1	10 ～ 29
2015	9	14 ～	個人住宅の屋根塗装の前処理として、ゴムホースを用いて屋根上を水洗浄作業中、1階屋根上から約4m墜落し、頭部を石に	30202	1	1～

		15	強打したものの。				9
2015	1	11 ～ 12	鉄骨平屋建て牛舎資材置場の解体工事において、波板スレート屋根の取り外し作業をしていた被災者が屋根上を移動中に波板スレートを踏み抜いて約3.7m下に墜落した。被災者は入院先の病院で平成27年4月27日に脳挫傷で死亡した。	30201	1		1～ 9
2015	6	14 ～ 15	被災者は、木造2階建て商業施設建設工事現場において、木造2階床組の根太固定作業中、足を掛けた根太がずれ、高さ3.2mから1階土間コンクリート上に落下、後頭部を強打した。救急車にて病院に搬送され、当日、頭部の血腫除去手術を受けた後、入院療養中であったが、7月26日に急性呼吸不全により、死亡したものの。災害当日、ヘルメットは着用していたが、安全帯を使用していなかった。	30202	1		30 ～ 49
2015	1	15 ～ 16	被災者が、高さ約6メートルの屋根の端部から墜落し、災害発生現場に設置されていた灯油タンクに激突した後、地面に転落し、死亡したものの。災害発生時、被災者は2階建ての建物の屋根（勾配約20度）上において、長さ約1メートルのスコップを用い、雪庇を除去する作業を行っていた。作業位置及び隣接部に、足場等は設けられておらず、安全帯及びヘルメット等の保護具は未着用であった。	30199	1		10 ～ 29
2015	12	11 ～ 12	2階建て一般住宅の塗装工事現場において、被災者は2階屋根上で塗装作業を行っていたが、自らが塗った塗料を踏んで足を滑らせて転倒、屋根を滑り落ちて軒先の雪止めに引っ掛かり一度は止まった。しかし、被災者はその場で立ち上がり、躯体外部に設置してあった単管に飛び移ろうとしたが、単管を掴み損ない、養生シートを突き破って敷地外に飛び出し、約7m下のアスファルト路面に墜落したものの。	30209	1		1～ 9
2015	3	14 ～ 15	商店街アーケードの点検用通路等の試し塗り作業に従事していた際、本通路の外側にある梁上において何らかの作業をしていたとき、バランスを崩し、約7メートル下に墜落したものの。	30209	1		1～ 9
2015	6	8	事業場所有の資材倉庫のトタン屋根張り替え作業において、労働者4名によりトタン屋根の撤去作業中、被災者はトタン屋根を踏み抜き約5m下のコンクリート床に墜落した。頭蓋骨骨折で意識不明の重体であったが、平成27年6月9日夜に亡く	30202	1		10 ～

	9	なったもの。			29	
2015	4	13 ～ 14	平屋木造家屋新築工事現場において、被災者は屋根部分の垂木を設置する作業のため、高さ5.37mの棟木（屋根の最上部に設置された垂木を取り付ける為の材）に上り作業を行っていたところ、バランスを崩し土間コンクリート上に墜落したものの。なお、災害発生時において、作業床の設置、ヘルメットの着用及び安全帯の着用（取付設備設置なし）等の墜落防止措置は講じられていなかったもの。	30202	1	1～ 9
2015	7	16 ～ 17	木造平屋建ての作業小屋増築工事において事業主と労働者2名で作業していた。被災者は、屋根上で垂木に野地板を取り付ける作業中、屋根上（高さ約3m）から土の地面に墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	12	13 ～ 14	被災者は一人で、鉄骨スレートぶきの平屋倉庫の屋根に上がって、木のつる等を撤去しようとしていたところ、スレートを踏み抜き4.2m下の倉庫の床まで墜落した。（近所の住民が被災者の姿が見えなくなったので探したところ倉庫内で倒れている被災者を発見したもの）	10806	1	10 ～ 29
2015	6	18 ～ 19	5階建て共同住宅の屋上において、雨漏り箇所の目視確認作業中、屋上から墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2015	9	14 ～ 15	公民館の屋根改修工事において、被災者は屋根の軒付近にある縦樋のゴミ除け用網かごに番線をかけ、コーキング樹脂で固定する作業を行っていた際、屋根の軒から吹き抜け廊下の屋根端のパラペットに移ろうとしたところ、約3メートル下の玄関ホールの屋根へ墜落した。被災者は第一日赤へ搬送され治療を受けていたが、容体が悪化して9月23日に死亡した。	30201	1	1～ 9
2015	9	13 ～ 14	地上9階建て建築物の新築工事現場において、6階梁型枠上（地上からの高さ19.2m）でコンクリート打設作業中、流し込んだコンクリートが型枠から溢れ出たため、それを手で拾い上げようとして腰を下ろし、立ち上がろうとしたところ、バランスを崩して14.5m下にある外部足場の頭つなぎ単管上（地上からの高さ4.7m）に墜落した。	30201	1	30 ～ 49
2015	2	13 ～	生物園の大温室（ガラス張り）の屋上において、被災者が高圧洗浄機を用いて屋根ガラスの清掃作業中、ガラス上に乗った際	150101	1	1～

		14	に割れ、約9.5メートル下の通路（コンクリート構造）に墜落し、死亡したもの。			9
2015	7	15 ～ 16	天井クレーンのトロリとトロリ線の接触不良のため、修繕しようと建屋梁及び筋かいをよじ上って作業しようとしたところ高さ約4メートル墜落したもの。（推定）	11209	1	1～ 9
2015	4	14 ～ 15	農場屋根壁かぶせ工事において、会社から派遣され、業務に従事していた被災者ら2名の労働者は、鶏舎の屋根上に荷揚げされた屋根材の運搬作業を行うため、当該鶏舎の屋根上に登り二人で屋根材を持ち、はり付け作業を行っていた場所へ運搬していたところ、被災者が足を滑らせ転倒し、そのまま傾斜17度の屋根を端の方へ滑り、屋根の端から7m下の地面に墜落したもの。	30209	1	1～ 9
2015	10	10 ～ 11	牧場の洗車場の屋根の改修工事を行うに際し、屋根板を剥がそうと屋根上を移動したところ、屋根板が曲り屋根板間の隙間から高さ7.3メートル下のコンクリート面に墜落したものである。	30201	1	1～ 9
2015	11	10 ～ 11	スレート壁及びスレート屋根の解体工事において、取り外したスレート壁を運ぶ作業中、通路としていたスレート屋根を踏み抜き、高さ5.55m下の地面に墜落し死亡したもの。墜落時保護用の保護帽の着用はあったが、安全帯の着用、使用はなかった。	30209	1	1～ 9
2015	3	13 ～ 14	被災者は、木造建築工事現場において棟上げ作業中、梁に載せられていた木材の上に乗ったため、それが揺動して約3メートル下の床面に墜落し負傷した。それにより翌日に病院において死亡した。被災者は、棟上げ作業について当日のみ手伝いに来た特別加入者であり、労働者性について調査を実施中。	30202	1	1～ 9
2015	3	8 ～ 9	既存のスレート屋根部分の改修工事のため、2名でスレート屋根上に上り、墜落防止用のネットをスレート上にかぶせる作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、高さ約5メートル下のコンクリート床面に墜落し、当日13時頃死亡した。	30209	1	1～ 9
		9	木造家屋建屋解体現場において、労働者2名が建屋の屋根（高さ2.99メートル）に上がり、屋根の瓦を外す作業をしてい			1～

2015	5	～	たところ、被災者が墜落し、死亡したもの。被災者は、被災時に保護帽を着用していたものの、安全帯を着用していなかった。	30309	1	9
2015	9	8 ～ 9	被災者は、屋根のペンキ塗り作業に際し、屋根の端から約6メートル下の地面まで墜落し、全身を打って死亡したもの。災害発生日の朝、現場に来た社長が、隣地内に倒れている被災者を発見したもの。	30202	1	1～ 9
2015	12	14 ～ 15	在来工法による木造建築工事の建て方作業中、2階の床（91cm四方、厚さ24mmの合板）を敷いていたところ、幅12cmの梁（高さ3.8m）から足を踏み外し、ベタ基礎に後頭部を強打した。保護帽、安全帯は着用していたが安全帯を取り付ける設備は無かった。墜落防止用のネットが用意されていたが取り付けられてなかった。病院へ収容され、翌早朝死亡した。	30202	1	1～ 9
2015	8	15 ～ 16	被災者は、木造平屋建ての公営住宅新築工事現場において、高さ約3メートルの梁上で、携帯電動ドリルを使用し、梁に接続金具を取付けるためのボルト穴を開ける作業を行っていたところ、コンクリート土間に墜落したものである。意識不明の状態 で病院に搬送されたが、8月20日に脳挫傷により死亡したもの。安全帯は着用していたが使用せず、安全帯を取付けるための設備も設けられていなかった。	30202	1	1～ 9
2015	5	8 ～ 9	宿直用の布団を干すため、管理棟3階の明かり取り用のトップライトに上ったところ、厚さ6.8ミリメートルのガラスを踏み抜き、約8.4メートル下のプラットホームに墜落し死亡した。	150103	1	30 ～ 49
2015	9	12 ～ 13	S産業は産業用機械を製造する事業場で約30年前にN産業に砂洗浄機を納入し、メンテナンス等も行っていた。台風でスレート屋根に穴が開き、その補修作業をN産業からS産業へ依頼した。第1日目は殆ど剥がれた屋根へ波鉄板を設置する作業が行われ、第2か3日目にスレート屋根の補修作業を行っている際、被災者が踏み抜き、約5mの地上まで墜落し死亡したもの。	30209	1	1～ 9
2015	12	8 ～ 9	屋根置き式雪止め設置工事で、一般住宅の屋根（2階建て、地上からの高さ5.75m）に梯子を立てかけ登ったところ屋根又は梯子から墜落し、勝手口前の歩道に頭部を打ち付け脳挫傷により死亡した。	30202	1	10 ～ 29

2016	12	14 ～ 15	木造2階建て住宅のリフォーム工事現場において、資材を取りに行くため、作業箇所から移動はしごが取り付けられた位置まで1階の屋根の上を移動していた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から3.4m下の地面に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	12	14 ～ 15	2階建て住宅の屋根上（高さ約6メートル）において、被災者が塗装作業を行っていたところ、外部足場（一側足場）に設けられた中さんの設置位置が高すぎたため、屋根上からその間を通り、さらに落下防止用シートの間をも通過して地上に墜落した。	30209	1	1～ 9
2016	11	10 ～ 11	最近休憩室に設置されたTVの受信状態が悪かったため、午前の休憩時間中にトラクター車庫の屋根に登り、TVアンテナの設置・調整をしようとしたところ、スレート屋根を踏み抜き約4m下の土間に墜落し、頭部等を強く打ち死亡した。	70101	1	1～ 9
2016	11	11 ～ 12	屋根の塗装工事を行うため、高圧洗浄機にて屋根の洗浄作業を行っていたところ、誤って屋根から墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2016	11	15 ～ 16	工場の屋根修理工事で、被災者と所属会社の社長の2名が、オペレーターが操作する高所作業車にて屋根に登り、歩み板や防網等の危害防止措置を取らずに作業を行ったところ、被災者はスレート屋根を踏み抜き、約9.6メートル下のコンクリート床へ墜落し、死亡した。	30209	1	1～ 9
2016	10	14 ～ 15	被災者は、太陽光パネルの設置工事において、二階建て建物の屋根に上がって作業を行っていたところ、屋根から約7メートル下のアスファルト舗装された駐車場に墜落した。	30302	1	10 ～ 29
2016	10	13 ～ 14	木造2階建て住宅の新築工事現場において、2階の屋根葺き（野地板釘打ち）作業を行っていた被災者が、足を滑らせ同屋根の端から6.21m下のアスファルト地面に墜落した。	30202	1	30 ～ 49

2016	10	11 ～ 12	木造2階建住宅の1階屋根上（幅118cm、勾配5.0度）において、被災者が2階外壁へ下地材の取付作業を行っていたところ、誤って屋根端部から約4m下方のコンクリート地面へ墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	被災者は、2階建て木造新築工事現場の2階梁上で梁を固定する作業を行っていたが、別の場所で2階の梁を固定する作業を行っていた作業者に梁固定用のボルトを持っていくため、2階の火打ち材に足を掛けた。その際に火打ち材が外れたため、バランスを崩して火打ち材とともに約6メートル下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	工場新築棟の屋根上で防水シートの敷設作業を行っていた被災者が、ルーフファン取付予定箇所に係る開口部から地上に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2016	10	15 ～ 16	2階建て木造住宅の屋根板金葺き替え工事において、トタンの仮設置を終えたところで雨が降り出したため、当日の作業を中止しようと、道具を片付けていたところ、屋根上で足を滑らせ2階屋根軒先から墜落。一旦玄関屋根に墜落し、アスファルト地面に墜落し、頭部を強打して死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	10	17 ～ 18	スレート屋根の補修等の作業を行うため、同屋根上で作業を行っていた被災者が、スレートを踏み抜き、約5メートル下のコンクリート製床面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2016	9	18 ～ 19	鉄塔の避雷針取替工事において、地上から31m50cmの高さにある梁上で、被災者が避雷針取替作業を行っていたところ、梁間の開口部から4m18cm下のグレーチング製のステージ上に墜落し、死亡した。	30301	1	1～ 9
2016	9	14 ～ 15	自社の工場建屋の雨樋の交換作業を被災者は他の2名の労働者で行っていたが、その作業が終了し、後片付けを行っている時に、被災者がコーキングガンを持って屋根に上って行き、工場建屋の天井を踏み抜いて天井から工場の床（高さ8.75メートル）まで墜落し、死亡した。	30209	1	10 ～ 29
		8				

2016	9	9	鉄骨組立作業において、高さ16メートルの位置に梁（長さ約6.6メートル、重量3.7トン）を移動式クレーン（つり上げ荷重90トン）を使用して設置後、同僚とともに梁の両端でバールを使用して梁位置の微調整を行う作業中、墜落した。	30201	1	1～9
2016	8	12～13	車庫に併設されている物品庫の屋根の一部が剥がれていたため、被災者と同僚の2名で屋根の状況を確認するため、午後0時30分、屋根上に上がり開口している箇所に向けて被災者が歩いていたところ、スレートを踏み抜き3.7メートル下の物品庫の床に墜落し、頭部を強く打ちつけ、意識不明となっていたが死亡した。	120101	1	10～29
2016	8	9～10	木造2階建て家屋の解体工事において、屋根の瓦撤去作業中、誤って地上約6メートルの地点から墜落し、病院に搬送されたが、まもなく死亡した。	30309	1	1～9
2016	8	9～10	高さ約7メートルの事業場第2工場の屋根のスレート部分を被災者が渡っている際、被災者の乗っている位置のスレートが破れ、コンクリート地面に墜落した。	10899	1	1～9
2016	8	14～15	木造平屋倉庫の解体工事において、屋根上で屋根瓦の撤去作業中、野地板を踏み抜き約6m下のコンクリート床に墜落し脳挫傷により死亡した。	30209	9	1～9
2016	7	13～14	被災者は、スレート屋根上でビス止め部分にコーティング剤を施す作業を行っていたところ、当該スレート屋根（高さ約8メートル）を踏み抜き墜落した。	30209	1	1～9
2016	7	10～11	木造2階建て事務所解体工事において、被災者は2階床のほりに上がって根太の取り外し作業をおこなっていたところ、約3m下のコンクリート基礎に墜落した。	30209	1	1～9
		10				1～

2016	7	～ 11	木造2階建住宅のテレビアンテナ取り換え工事において、高さ約6メートルの屋根上から墜落した。	30203	1	9
2016	7	～ 10	9 廃倉庫（軽量鉄骨造平屋建て、最高高さ4.96m）の解体工事において、被災者は屋根（鋼板と木材を組み合わせた構造） 上にて親綱を張ろうとしたところ、足下が破損して約4.6m下の床面（土間コンクリート）に墜落、頭部を強打して負傷か ら約4時間後に死亡した。	30309	1	10 ～ 29
2016	6	～ 17	16 被災者は、プレハブ小屋のひさしを設置するため、塩化ビニル製の波板を敷設していたところ、高さ約2.8メートルの位置 から墜落した。	30202	1	0
2016	6	～ 15	14 被災者が鉄骨造の倉庫平家建て解体工事現場で、屋根材裏の板材を地上約4.5mの高さの木製の梁にのって撤去していたと ころ、同梁が折れて、墜落した。	30201	1	10 ～ 29
2016	6	～ 15	14 木造2階建ての集合住宅の建築工事現場において、被災者は高さ6.8mの屋根上で野地板を張る作業を終えて、屋根から足 場に移動中に墜落した。	30202	1	1～ 9
2016	5	～ 10	9 石油ストーブの撤去作業において、1階屋根上で2階壁面から出ている給排気筒の取り外し作業を行っていたところ、立ち上 がろうとした際にバランスを崩して約3.5mの軒先から地面に墜落し、2日後に死亡した。	80204	1	1～ 9
2016	5	～ 11	10 被災者は瓦の補修工事のため、屋根に上り瓦の状況を確認していたところ、頭部から出血し、コンクリート土間に倒れている ところを発見される。墜落したのを目撃した者はいないが、一緒に屋根上にいた別の労働者が何か落ちる音を聞いており、 音がした方を見ると、被災者がコンクリート土間で倒れていた。	30209	1	10 ～ 29
2016	5	～	15 被災者は、木造2階建ての倉庫の2階屋根上（高さ約3.9メートル）で高圧洗浄機を使用し、洗浄作業を行っていたが、休 憩時間になり地上に降りるため、2階屋根上から1階屋根上へ脚立を使って降りようとしたところ、脚立と一緒に1階屋根上	30202	1	1～

		16	から地上へ墜落し、19日後に死亡した。				9
2016	4	11 ～ 12	2階鉄骨造りの車庫兼倉庫の解体工事にて、2階の床材、垂木の撤去作業を終え、被災者は根太を取り除くために根太とH鋼を固定しているアングル部の釘をハンマー、バールを使用し抜き終わったところ、被災者は根太及びH鋼の開口部から約2.8m下の1階のコンクリート床面に墜落した。	30201	1		1～ 9
2016	4	11 ～ 12	立体駐車場の解現場で、元請事業場雇用労働者が被災したものである。被災者は、解体中の建屋の梁（鋼製、幅約70cm、地上高21m）上にてアセチレンガス溶接機を用いて、駐車場設備の溶断作業を行っていたところ、誤って地上まで落下して死亡した。	30209	1		10 ～ 29
2016	4	9 ～ 10	個人宅の倉庫解体作業において、社長を含む3人で朝の打ち合わせ後、被災者が一人でスレート屋根に登ったところ、踏み抜き、5.2m下のコンクリート製の床に墜落した。	30309	1		1～ 9
2016	4	13 ～ 14	木造2階建ての住宅改築工事において、被災者が同僚とともに1階屋根の瓦棧の固定作業中、被災者が屋根上に瓦棧を並べて置きながら移動していたところ、軒先から足を踏み外し330cm下の地面に墜落した。	30202	1		1～ 9
2016	4	11 ～ 12	被災者は、工場の屋根上で柱の塗装作業を行っていたところ、3.79メートル下のアスファルト舗装した地面に墜落した。その後、救急車で病院に搬送され急性硬膜下血腫による死亡が確認された。	10103	1		30 ～ 49
2016	3	11 ～ 12	自社工場のスレート屋根の修繕作業を行っていたところ、被災者がスレート屋根を歩行中に屋根を踏み抜き、高さ約5メートル下のコンクリート床に墜落し、死亡した。	11209	9		1～ 9
2016	3	11 ～	作業場の庇（鉄骨造・スレート張、縦1.63m、横5.08m、地上からの高さ4.67m）の上で、同僚2名と共に作業場外壁の塗装作業を行っていた被災者が庇のスレート部分を踏み抜き、地面（コンクリート舗装）に墜落した。災害発生時、	11209	1		1～

		12	被災者他2名は、庇に「歩み板」2枚（幅24cm、長さ2m、厚さ4cm、木製）を敷いて作業を行っていたが、被災者は、板が敷かれていない箇所のスレートを踏み抜き墜落した。			9
2016	3	17 ～ 18	木造建築工事（保育園園舎新築工事）において、母屋上で垂木取り付け作業中、被災者は木材等を運搬していたところ、母屋材と母屋材との間から墜落した。（墜落高さ約4.3m）	30202	1	10 ～ 29
2016	3	14 ～ 15	当該事業場において、スレート製の屋根の張替作業を行っていたところ、スレートを踏み抜き、高さ約5.5メートル下のコンクリート製の床に墜落した。	10801	1	1～ 9
2016	3	9 ～ 10	当該事業場が所有する高さ7.1mのテント倉庫の屋根を補修するにあたりビニール製の屋根上を移動していた被災者が屋根を踏み抜いて約7m下のコンクリート地面に落下した。	30209	1	30 ～ 49
2016	3	8 ～ 9	被災者は、同僚労働者と共に、木造新築現場の2階庇部分の母屋上において、垂木の釘固定作業をしていたところ、6m下のコンクリート土間に墜落した。	30202	1	10 ～ 29
2016	3	16 ～ 17	被災者が、S造の解体工事現場で解体作業中、スレートを踏み抜き約4m下に墜落した。	30209	1	1～ 9
2016	2	13 ～ 14	被災者2名を含め、総勢12名で学校校舎の屋根の除雪作業を行っていた。12名は屋根上で横一列に並び、軒先の雪を屋根下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、2名が生き埋めとなった。	30309	1	10 ～ 29
2016	2	13 ～	被災者2名を含め、総勢12名で学校校舎の屋根の除雪作業を行っていた。12名は屋根上で横一列に並び、軒先の雪を屋根	30309	1	1～

		14	下に落としていたところ、屋根上の雪が全て屋根を滑り落ち、12名全員が落雪に巻き込まれ、2名が生き埋めとなった。			9
2016	2	9 ～ 10	被災者は、同僚と2名でD型倉庫屋根に上り除雪作業をしていたところ、プラスチック製の屋根板を踏み抜き、倉庫内に約5.7メートル墜落した。	60101	1	1～ 9
2016	1	9 ～ 10	木造2階部分の屋根瓦葺き替え工事において、古い瓦を撤去後に屋根をブルーシートで覆ったが、降雨で工事箇所から雨漏りがするため、災害当日、もう一枚ブルーシートを上には掛け固定する作業を小雨の中3人で行った。その際、南面で一人作業を行っていた被災者が、軒先から4.97m下の地上に落ちていたところを事業主に発見され、病院に搬送されたが、3日後に死亡した。	30209	1	1～ 9
2016	1	8 ～ 9	所内に設置された焼却炉の解体撤去工事において、養生に使用する防災シートを張る作業を行っていた被災者が、作業場所の屋根の端部に仮置きされた防災シートを取りに行くために屋根に上り、置き場に向かう途中、屋根の採光部分（FRP製）を通過してしまい、踏み抜き、10メートル下に墜落した。	30309	1	1～ 9
2016	1	11 ～ 12	個人住宅の壁の補修工事において、被災者が地上にいる同僚から材料を受け取るために1階屋根上を移動していたところ、屋根から墜落し、被災した。	30202	1	1～ 9
2016	1	10 ～ 11	木造2階建て民家の解体工事現場において、2階の屋根上で、瓦を外す作業を行っていた被災者が、軒先から約6メートル下の地面に墜落し、4日後に死亡した。	30202	1	1～ 9
2016	1	16 ～ 17	木造平屋建ての倉庫新築工事現場において建方作業中、被災者が約4メートルの梁上から基礎コンクリートに墜落した。病院に救急搬送されたが、間もなく死亡した。	30202	1	1～ 9
		14	納屋の解体工事において、防水シートを剥がす作業をしていたところ、高さ2メートル77センチメートルの屋根から墜落し			1～

2017	12	～ 15	た。	30309	1	9
2017	12	～ 11	10 工場の屋根に設置されている太陽光パネルを労働者6名で清掃していたところ、被災者が屋根に設けられた天窓のガラスを踏み抜いて高さ約13.8メートルの箇所から墜落し、死亡した。なお、墜落防止措置は講じられていなかった。	150109	1	1～ 9
2017	12	～ 13	12 被災者を含め4名の労働者がダクトの修繕及び清掃作業に従事していたところ、被災者がスレート葺き屋根を踏み抜いて、約5メートル下のコンクリート地面に墜落し、死亡した。歩み板の設置等の踏み抜き防止措置は講じられておらず、被災者は保護帽を着用していなかった。	10401	1	10 ～ 29
2017	12	～ 13	12 鉄骨造工場増築工事現場において、組み立て中の鉄骨柱が傾き、柱間を渡していた梁の上には被災者が約7mの高さから墜落した。被災者は安全帯を着用していたものの、親綱等の設備が設置されていなかったため使用していなかった。	30201	1	1～ 9
2017	11	～ 9	8 工場の雨漏り箇所の補修に使用する波板を補修場所まで運ぶため、被災者が同僚と屋根に登り、スレート屋根の上を移動していたところ、明かり取りの波板を踏み抜き、高さ約4.4mの位置からコンクリート床に墜落した。	11509	1	50 ～ 99
2017	11	～ 11	10 トタン屋根の張替作業中、被災者はトタン上に釘を打つ位置の墨出しを行うため、仮止めしたトタン屋根の上で事業主が持つ墨つぼから糸を引き出して屋根端部を移動していたところ、足を踏み外し、約2.7m下の地面に墜落した。	30209	1	1～ 9
2017	11	～ 15	14 賃借している倉庫の雨樋修理を1人作業で行っていた被災者は、はしごを使用してあがったスレート屋根上を移動中に、歩み板を踏み外してスレート屋根を踏み抜き約5m下の倉庫内コンクリート床まで墜落し、頭部を打撲し頭蓋骨骨折により死亡した。	11209	1	10 ～ 29
2017	11	～	14 木造二階建ての切妻屋根の板金張替え作業中、労働者2名が別々の場所で行っていたところ、「ドン」という音がしたので見	30209	1	1～

		15	にいくと、被災者が約6メートル下の地面に倒れていたため救急搬送したが死亡が確認された。				9
2017	10	10 ～ 11	木造建築物の建築工事現場において、建て方作業等を行っていた。被災者は、2階の梁上で床下地材を敷いていたが、作業中にバランスを崩し、約3.6m下の1階基礎コンクリート部分に墜落した。	30202	1		1～ 9
2017	10	16 ～ 17	S造1階建て牛舎新築工事において、被災者は屋根材を梁の上に仮置きしようとした。設置済みの屋根材の端に足をかけたところ、折れ曲がり、墜落防止用の網のすき間から約6.5m下の地面に墜落した。梁等組み立てのため親綱が設置されていたが、屋根材設置にあたり、全て外されていた。被災者は安全帯を装着していたが、使用していなかった。	30201	1		1～ 9
2017	10	10 ～ 11	木造家屋の解体工事現場において、平屋部分の屋根上で瓦の撤去作業を行っていたところ、軒先から約2.5m下の地面に墜落した。	30202	1		1～ 9
2017	10	8 ～ 9	塗装工事現場において、店舗屋上の明り取り（トップライト）の施工方法について打ち合わせに来た元請事業場の営業職である被災者が、同明り取りのガラス部を踏み抜き、7m下の床に墜落した。	80101	1		1～ 9
2017	9	10 ～ 11	一部2階建て一般木造住宅の解体工事において、釘で打ち付けられた垂木と鼻隠しを切り離すため、高さ約5mの2階桁及び火打梁に足をかけバールを使用して軒先側にあおったところバランスを崩し、隣地の庭木の土の上に墜落した。	30202	1		1～ 9
2017	9	14 ～ 15	躯体1階床から高さ274.3cmに位置する幅10.5cmの木製梁上で、柱に別の梁を取り付ける作業を行っていた被災者が、脚立の天板に乗り移ろうとした際に、躯体1階床まで墜落し死亡した。	30202	1		1～ 9
2017	8	～	自社敷地内に鉄骨造平屋建ての倉庫を、事業主と社員1名で建てていた。作業の区切りを機に休憩に入り、事業主はその場から離れ、同じ敷地内にある事務所へ行った。30分後、作業場に戻ったところ、一緒に作業していた社員が地面に倒れている	40301	1		10 ～

		15	のを発見した。			29
2017	8	14 ～ 15	薬局の倉庫のスレートぶき屋根の上において、スレート板を母屋材に留めるフックボルトの交換作業中、被災者が屋根の棟付 近のフックボルトをサンダーで切断していたところ、スレートを踏み抜き、約7.7mの高さから倉庫内床に墜落した。頭を 強く打ち、死亡した。	30201	1	1～ 9
2017	8	8 ～ 9	2階建て民家の屋根（勾配33°）の上で、被災者が塗装作業に先立ち高圧洗浄機を用いて屋根の洗浄を行おうとしたとこ ろ、足を滑らせて約6.6メートルの高さから当民家に面する道路に墜落した。頭を強く打ち、死亡した。	30202	1	1～ 9
2017	7	10 ～ 11	工場のスレート屋根を補修する作業を行っていた労働者が、休憩を終えて作業箇所へ移動していたところ、スレートを踏み抜 いて約4メートル下のコンクリート上に墜落した。	30201	1	1～ 9
2017	7	16 ～ 17	雨水調整池の水槽内で、電気設備取付けのための足場の組立て作業を行っていた被災者が、中間梁（高さ6.4m）から墜落 した。	30110	1	1～ 9
2017	7	8 ～ 9	一般住宅の棟瓦の積直し工事において、資材の屋根への持ち込み等準備作業中、屋根から墜落した。軒の高さ約6m。	30209	1	1～ 9
2017	7	10 ～ 11	3階建ての建物建設工事で、鉄骨建方作業中に、鉄骨の梁で下から2段目の端から地上に墜落（約8m）し、意識不明の状態 で病院へ搬送され、その後死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2017	7	10 ～ 11	被災者は鉄骨建屋の高力ボルトの本締め作業中、鉄骨梁下に張られた水平ネット上に工具を落とし、他の作業者に拾ってもら い、受け取った直後、高さ13.5mの所で鉄骨梁をまたいだ状態から体勢を崩し、反対側のみ固定されていたブレース材を 掴んだがブレース材が下がりネットを破り、その隙間から墜落した。	30201	1	1～ 9

2017	7	10 ～ 11	被災者は、工場内にある電気炉の修繕工事を行っていたところ、約16m上方の天井梁に付着した固着ダスト（大きさ約15cm×15cm、厚さ約6cm、重量約1.2kg、酸化鉄30～50%、酸化亜鉛20～50%）の一部が剥がれ落ち、被災者の頭部付近に激突した。	30309	4	10 ～ 29
2017	7	16 ～ 17	屋根改修工事のため、1F屋根折版上へ外部足場を組立てるため、同場所へ上り歩行中に網入りガラス（厚さ6.8mm）を踏み抜き、7.1m下のコンクリート地面へ墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2017	7	14 ～ 15	会社敷地内において、プレハブ倉庫の屋根（高さ2.8m）上に保管してあったコンパネを荷下ろしするために、被災者が同場所に上がり、地上の同僚に手渡しして行い、作業が終了した。この時点で同僚がトイレに行って戻ってきたところ、作業場に真下で地面に横たわっている被災者を発見した。墜落の瞬間を目撃した者はいないが、被災者は屋根から墜落したものと推定される。	30202	1	1～ 9
2017	5	12 ～ 13	工場内第3製缶工場において、被災者が電源盤の増設工事を行っていた際、電源線を建屋高さ約3.3mに這わそうとして、建屋の梁に登り作業を行っていたところ、バランスを崩し約3.3m下に墜落した。	11502	1	100 ～ 299
2017	5	8 ～ 9	資材置場の小屋の屋根の上で樹木の枝払い作業を行っていたところ、当該屋根から地上へと約3m墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2017	5	16 ～ 17	2階建て木造建築住宅の建築工事において、被災者が東面は壁材、床面は根太材しか無い状態であった2階のバルコニーを通り、東面笠木の下を潜って外部足場に移動しようとしたところ、誤って笠木に頭をぶつけ、床面の根太材同士の間隙から1階床面（高さ290cm）に墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	5	14 ～	平屋住宅に太陽光発電パネルを設置する工事で、最終チェックのため現場に訪れた被災者がなんらかの原因で高さ3mの屋上から墜落し負傷した。入院治療を続けていたが、死亡した。	30301	1	10 ～

		15				29
2017	4	14 ～ 15	倉庫のスレート屋根の破損箇所にブルーシートを掛けるため、スレート屋根上を移動していたところ、スレートを踏み抜き、約6メートル下のコンクリート床面へ墜落した。	80109	1	1～ 9
2017	4	18 ～ 19	被災者は朝8時頃、自宅の風呂の中で意識不明の状態で見つされた。その後病院へ搬送されたが、翌日死亡。死因は「くも膜下出血」であった。被災者は死亡前々日事務所2階への昇降階段下空間部の物入れ内にて、荷を抱えて立ち上がりながら振り向いた際、高さ1.3mの位置にあった梁に前額部をぶつけた。その時は被災者本人が「たんこぶ程度」と言い帰宅していた。	80109	3	1～ 9
2017	4	14 ～ 15	老朽化したスレート屋根の上に鋼板を張る作業をしており、ほぼ鋼板は張り終えていたが、明かり取り用の塩化ビニル板を踏み抜き、約5.3mの高さから墜落した。病院に搬送されたが死亡が確認された。	30209	1	1～ 9
2017	3	14 ～ 15	工場のスレート屋根上の避雷針の整備工事において、2人の作業者が歩み板の設置など墜落防止措置がないままで避雷針のポールを取替え作業を行っている際、被災者がスレート屋根に設置された明かり採り用の波板を踏み抜き、約16メートル下の鉄筋上に落下し、全身打撲、大動脈破裂により死亡した。	30309	1	10 ～ 29
2017	3	10 ～ 11	二階建て木造住宅の保証更新における防水工事で、外壁シーリングの更新作業を行っていた被災者が、玄関上の屋根庇（高さ3.2m）から墜落した。	30202	1	1～ 9
2017	3	8 ～ 9	工場屋根の葺替工事中、被災者はスレート屋根を踏み抜き、10.8mの高さから工場の土間（コンクリート）に墜落した。	30209	1	1～ 9
2017	3	12 ～	被災者は昼休み後に2号倉庫の西側に出来た雪庇を落とす作業を一人で開始した。東側に設置されているタラップ下部に開いた脚立を掛けて屋根に登り、西側の屋根に飛び出た雪庇を南側から北に向かって切り落とした後、北側の角付近から6.61	80109	1	1～

		13	m墜落した。				9
2017	3	10 ～ 11	屋根瓦の葺き替え工事中、雨による作業中断のため、作業の片付けをしていた被災者が、片付けを終えて屋根から降りるため、瓦屑などが入った箕を両手に持って瓦が葺かれている屋根の上を移動中、足を滑らせて屋根から約2m下のコンクリート地面に墜落し、頭を打ち付け、脳挫傷により死亡した。作業場所である屋根の上には足場等は設けられておらず、安全帯も使用しておらず、安全帯取り付け設備も設けられていなかった。	30202	1		1～ 9
2017	3	8 ～ 9	2階建アパートの屋根を塗装中、軒先から約6メートル下の地上に墜落し死亡した。	30209	1		1～ 9
2017	2	16 ～ 17	建屋解体工事現場でスレート屋根をはがす作業終了後、地上に降りようと梁の上を移動していた際に、約7.5m下の地面に墜落した。	30201	1		1～ 9
2017	2	14 ～ 15	養豚場において、豚舎（3階建て、軒高6.7m）の雪庇落としのため、被災者が屋根に上ってスコップ等で雪庇を落とし、他の労働者1名が地上で落ちた雪庇をかき集めていた。その作業中、地上で雪庇をかき集めていた労働者が、背後でドサツという音がした場所を確認したところ、倒れている被災者を発見した。	70101	1		1～ 9
2017	2	10 ～ 11	5階建て鉄筋住宅の屋上において、被災者及びもう一人の労働者の2名でテレビケーブルの取替作業を行うため、被災者が新しいケーブルの先端付近を持ち、屋上の端部へ歩きながらケーブルを引っ張って行く延線作業を行っていたところ、屋上端部から14.56m下の地面まで墜落し、救急車で病院へ搬送されたが死亡した。なお、屋上端部に手すり等は設置されておらず、被災者も保護帽及び安全帯は着用していなかった。	30203	1		10 ～ 29
2017	2	16 ～ 17	不要な段ボール等を細かくするシュレッダー装置の配管が詰まったため、被災者ともう1名がスレート屋根葺きの工場の屋根に上り、詰まった個所の配管の整備を行っていたところ、被災者がスレートを踏み抜き、約8.5m下の床面に墜落し、翌日死亡した。	10602	1		100 ～ 299

2017	2	10 ～ 11	旅館の壁に水漏れを確認した元左官工で風呂管理と建屋の軽微な補修を担当していた被災者は、支配人と話しあい屋上の防水補修を行うことになった。9時30分頃、支配人と被災者は3階屋上の露天風呂に移動。支配人は柵にロープを設置後、露天風呂を離れた。10時43分、駐車場で蒲団を干していた労働者がなにかが落ちる音に気づき倒れている被災者を発見。発見時被災者は足の痛みを訴えていたが、搬送先の病院で死亡が確認された。	140101	1	1～ 9
2017	1	12 ～ 13	ユニットハウス製造現場において、関係請負業者として、外装、内装の製造を請け負っていた当該事業場の労働者が、ユニットハウス屋根（高さ2.6m）より墜落して、2日後に死亡した。	11709	1	1～ 9
2018	12	8 ～ 9	請け負った倉庫の外壁工事が終了したため、足場の解体作業を行っていた。被災者は駐輪場の屋根に置いてあったインパクトドライバーを取りに行き、駐輪場の屋根から屋根（巾約80cm）に移動しようとしたところ、足を滑らせ約2.3m下のコンクリート床に墜落したもの。その後容体が急変し脳挫傷により死亡した。	30201	1	30 ～ 49
2018	12	10 ～ 11	平屋建ての個人住宅（最大H=4.5m）の屋根上で、1人で屋根の袖（妻面側のふち）の屋根瓦の交換作業を行っていたところ、高さ約3.2mの位置から地面まで墜落した。会社では日常的には安全带等の墜落防止措置を取っていなかった。なお、一人作業での墜落災害であり、墜落時の詳細は不明。	30209	1	10 ～ 29
2018	12	10 ～ 11	ログハウス（平屋建て）の屋根葺き作業において、屋根端部から約2.9m下の地上に墜落し、頭部を強打したもの。負傷から11日後に死亡。	30209	1	1～ 9
2018	11	14 ～ 15	被災者は、2階建てアパートの屋根上で塗装作業を行っていたところ、屋根の端から足場作業床に墜落し、さらに作業床の手すりの下から地面まで墜落したもの（屋根の端から地面までの垂直高さ：約6.7m）	30309	1	1～ 9
2018	11	16 ～ 17	死亡した被災者は1階屋根の下地工事中、屋根上を移動していたときに、軒先で作業していた別の作業員と接触し、軒先から2.75m下のコンクリート地面に墜落し死亡した。	30202	1	1～ 9

2018	11	10 ～ 11	台風により破損したスレート屋根補修作業中に、スレートを踏み抜き、高さ約10mから墜落したもの。	30309	1	1～ 9
2018	10	10 ～ 11	工場にあるテント倉庫の天井が台風の影響で吹き飛ばされたため、ブルーシートがかけられた状態になっていた。ブルーシートに雨水がたまり、たわんでいたため、被災者は、テント倉庫の屋上に歩み板を敷き、柄杓とバケツで水を抜いていたところ、テント内に墜落し、死亡したもの。	30209	1	1～ 9
2018	10	12 ～ 13	工場のスレート屋根（明かり取り用）を交換する作業を行っていた労働者が、スレートを踏み抜いて高さ約5.23メートルの位置からコンクリート床に墜落したもの。	30209	1	10 ～ 29
2018	10	12 ～ 13	工場の屋根補修工事を行っていた労働者が、屋根（スレート）を踏み抜き、地上まで9.3メートル墜落し死亡したもの。	30309	1	10 ～ 29
2018	10	8 ～ 9	上記支所内、購買倉庫のスレート屋根の雨漏り補修のため、職員6名が屋根に登りブルーシート掛け段取り作業中、被災者が明かり取り部分（ポリカーボネート部材）を踏み抜き約6.21m下に墜落した。（搬送先の病院で、死亡が確認された。）	170209	1	30 ～ 49
2018	10	12 ～ 13	倉庫の屋根の補修工事の見積もりを行うため、同屋根上で屋根材の寸法測定を行っていた被災者が転倒し、同屋根の明かり取りの部分の屋根材を突き破り、約7メートル下の床面に墜落し、医療機関に搬送されたが、同日死亡した。	30202	1	10 ～ 29
2018	10	16 ～ 17	台風により被災した倉庫の屋根を修理するため、補修材を持ち屋根上を移動中、スレートを踏み抜き9.8m墜落、死亡したもの。	30309	1	1～ 9

2018	10	14 ～ 15	台風により、敷地内の倉庫のスレート屋根が破損したことから、破損部分をビニールシートで覆う作業を被災者を含む2名が行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き約5.5メートル下のコンクリート床に墜落したものの。	140301	1	30 ～ 49
2018	10	10 ～ 11	台風により破損した屋根明かり取り用FRP波板取替作業のため、被災者と同僚が屋根（スレート葺き）に登り、波板の取替作業を行っていたところ、バランスを崩し同建屋屋根上から建屋内に約4m墜落したものの。被災者は保護帽は着用していたが、安全帯は着用しておらず、屋根には安全帯取付設備や防網は設けられていなかった。なお、屋根上には幅約20cmの歩み板2枚が設けられているものであった。	30201	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	台風の強風で資材倉庫屋根上の手摺りとネットフェンスの一部が吹き飛ばされたため、復旧作業を行っていたところ、屋根の端より2.8メートル下に墜落したものの。	30199	1	1～ 9
2018	9	12 ～ 13	既設住宅の屋根改修工事のため屋根上で屋根材を設置していたところ、何らかの原因でバランスを崩し、当該住宅周囲に設置していた単管足場を使用した屋根上の手すりの隙間からメッシュシートを破って、隣地駐車場のアスファルトに約5.98m墜落した。	30203	1	1～ 9
2018	9	16 ～ 17	一般住宅に隣接する物置小屋の改築工事において、代表者、被災者、施主の3名で屋根の上に上り、防水シートを貼る作業を行っていたところ、被災者が屋根から約4m下のコンクリートの地面に墜落したものの。	30209	1	0
2018	9	8 ～ 9	鉄骨造1階建工場建屋建築工事に4人の屋根板金職人のうちの1人として入場した労働者が、他の3人の職人とともに梁の上に乗って鋼板製屋根材を順次敷設する作業を行っていたところ、鉄骨梁に鋼板製屋根材を固定しようとした際に、当該屋根板の端部から高さ7.65メートル下の地面（砂利）に墜落して死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	スレート屋根の雨漏り補修工事を鉄骨平屋建ての工場の屋根上で行っていたところ、1箇所目の作業が終わり、次の箇所へ移動中にスレート屋根を踏み抜いて高さ約8メートルの位置から工場内へ墜落して死亡したものの。現場では歩み板は使用しておらず、被災者は安全帯を着用していたが使用していなかった。	30209	1	10 ～ 29

2018	9	18 ～ 19	被災者は一人で災害発生場所である個人宅の1階及び2階の屋根の雨どいの清掃作業を開始したが、同宅敷地脇の水路の中で、意識を失って倒れているところを発見され、病院に搬送されたが死亡が確認された。	150101	1	1～ 9
2018	9	12 ～ 13	木造2階建て店舗兼住宅の屋根雪止め交換工事において、長さ7.3mの雪止め用丸太を2階屋根上へ上げるため、丸太にロープを掛け、被災者ほか1名が高さ5.44mの2階屋根から引き上げていたところ、被災者が地面へ墜落し、死亡した。	30209	1	1～ 9
2018	9	16 ～ 17	台風により破損したスレート屋根の応急処置のためビニールシートで養生中、右手をついた箇所のスレートが折れ、約3m下に落下し、後頭部等を強打したものの。	30209	1	1～ 9
2018	9	8 ～ 9	鶏糞発酵建屋の屋根材が台風で吹き飛ばされたため、ビニールシートで養生する前の段取りのために、屋根上に上っていたところ、劣化した樹脂製波板を踏み抜いて5.3m墜落した。頭・胸・腹部の外傷を負った。	70101	1	50 ～ 99
2018	9	12 ～ 13	台風により損傷した屋根の応急措置としてブルーシートによる養生を行っていた。被災者が屋根の梁部を通行中、誤ってスレート部分に足を掛け、踏み抜き、約1.2mの高さから墜落した。(安全帯装着なし。歩み板なし。)	30209	1	1～ 9
2018	9	10 ～ 11	台風による2階建住宅の被害調査及び雨漏り養生を行うため、被災者と同僚の2名は屋根上で防水シート養生を行っていたが、防水シートが足りなくなったため、同僚がシートを取りに行っている間に、2階屋根から1階屋根に立てていたはしごを降りようとしたところ、一旦1階屋根に墜落して、地面まで墜落したものの。保護帽、安全帯は使用していない。被災者は緊急手術後も意識不明の状態であったが、後日死亡した。	30201	1	50 ～ 99
2018	9	14 ～ 15	台風により倉庫の屋根が破損したため、雨漏り防止用シートを敷くために、被災者と同僚がスレート拭き屋根上に上がり、2名で屋根端部から丸めたシートを広げていたところ、被災者が棧と棧の間のスレートを踏み抜き、約5m下に墜落したものの。屋根には歩み板、防網は設けられておらず、被災者は保護帽、安全帯を使用していなかった。	11209	1	1～ 9

2018	9	8 ～ 9	被災者は2階建集合住宅の塗装工事現場において、2階屋根の軒先5.5mから、敷地境界に設置されたアルミ柵の上に落下した。現認者不在のため推定であるが、被災者は屋根上の化粧小窓の塗装のため、外部足場から屋根に渡り、傾斜角度25度の屋根上を移動中に足を滑らせ、建物外周に設けられた足場の手すり(約1m)を乗り越えたか、手すりの下をくぐり抜けて墜落したものと考えられる。	30209	1	1～ 9
2018	8	12 ～ 13	台風により飛ばされた工場建屋の屋根張替え工事に従事していた労働者が屋根上を通行していたところ、屋根に葺かれた木毛板を踏み抜き、約13メートル下の工場床面に墜落して死亡した。	30201	1	1～ 9
2018	8	8 ～ 9	牧場の牛舎屋根上にスプリンクラーを設置する作業を行う際に、スプリンクラーのホースを通すため、牛舎の屋根に上って作業を行っていたところ、屋根の明かり取りに乗った際に踏み抜き、約4.7m下の牛舎内通路に墜落した。容体急変し、死亡した。	70101	1	10 ～ 29
2018	8	14 ～ 15	車両所運用検修センター資材庫の雨漏りに対する屋根補修作業完了後、地上に戻ろうと屋根上を移動していた際に、スレート屋根の重ね合わせの部分が浮いていると感じた被災者が、スレートを何度か踏んで浮きを確認していたところ、スレートを踏み抜いて約4.5m下の地面に墜落し、死亡した。	30201	1	1～ 9
2018	8	10 ～ 11	工場の雨漏り補修工事のため、スレート屋根の上を被災者と共同作業員Aの2名で板金材を運搬するために移動していたところ、スレートを踏み抜き、約9.8m下のコンクリート床に落下し、死亡した。	30203	1	1～ 9
2018	8	14 ～ 15	木造2階建て家屋の屋根の雨漏り改修のため、1階と2階の屋根瓦を全面葺き替える作業を代表者とアルバイト労働者(被災者)の2名で行っていたところ、2階屋根で作業をしていた被災者が1階北側樹脂波板上に墜落し、頸椎圧迫による酸欠で死亡した。被災者等はヘルメットや安全帯を着用しておらず、防網や足場も設けていなかった。	30202	1	1～ 9
2018	7	8 ～	倉庫の屋根の改修工事現場において、当該倉庫の屋根の上でスレートの撤去作業を行っていたところ、スレートを踏み抜いて、高さ約6.5メートルの箇所から、コンクリート床面に墜落した。	30201	1	1～ 9

	9					
2018	7	10	鉄骨造のD形倉庫の新築工事現場において、鉄骨の建方作業中、屋根下地の溝形鋼（チャンネル材）のボルト締めのため、もやに乗って移動していたところ、もやが折れて6.4m下のコンクリート床に墜落し、搬送先の病院で6時間半後に外傷性脳損傷により死亡した。保護帽と胴ベルトの安全帯を着用していたが、安全帯は使用せず、親綱の設置も無かった。	30201	1	1～9
2018	6	12	地震、火災等の非常事態を作業員に知らせるために、数ヶ月前に約30台の非常灯・サイレンを設置し、初期調整のため午前中に5台の設定を終了、午後から災害発生場所である製品倉庫内のクリーンルームの前室の天井（高さ3.7メートル）に設置した同機の設定のため天井を歩いたところ、天井を踏み抜き墜落した。	30301	1	1～9
2018	6	16	学生共同住宅（2階建軽量鉄骨）の屋根塗替工事現場において塗装作業中、屋根の南側端部から地上に墜落した。（高さ6.05m）	30201	1	1～9
2018	5	16	被災者は、鉄骨スレート屋根葺き工場において、塔屋足場の組立作業をしていたところ、スレート屋根を踏み抜き、10.5メートル下のコンクリート床に墜落した。被災者の近くで同僚が作業していたが被災者の墜落した状況を確認していない。被災者は保護帽、安全帯を着用していた。スレート屋根には踏み抜きを防止する防網、道板は設置されていなかった。	30309	1	1～9
2018	5	16	平屋民家の屋根葺き替え工事において、雨漏り防止のため、被災者が屋根にブルーシートをかけていたところ、バランスを崩し、軒先から約5m下の地面に墜落し、死亡した。	30202	1	1～9
2018	4	8	倉庫解体工事におけるスレート屋根撤去作業中に、屋根上で作業していた被災者が木毛板を踏み抜き約8m下の地面に墜落した。被災者の災害直前の作業状況から判断すると、屋根上のベンチレータを取り外そうとしたときに、木毛板に足をかけてしまったものと推定される。	30201	1	10～29
2018	4	8	工場の屋根及び雨樋の修繕工事において、現場代理人である被災者が同工場の波板スレート屋根（スレート部分とFRP部分あり）を歩いていたところ、FRPの波板を踏み抜き、約8.6メートル下のコンクリート床に墜落して死亡した。	30201	1	10～29

2018	4	16 ～ 17	工場解体工事において、屋根上で波型スレートの取り外し作業中に出来た開口部から、約9メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	10 ～ 29
2018	4	12 ～ 13	被災者は地上から高さ3m93cm以上の1階屋根上で瓦に跳ねた漆喰の清掃作業中、屋根上から道路に墜落し、死亡した。屋根上の周りは手すりが設置されていなかった。また、被災者はヘルメット、安全帯を着用。墜落時は、安全帯を使用していなかった。	30203	1	1～ 9
2018	3	14 ～ 15	栈橋を支える鋼管杭の塗装のために海上につり足場が組まれていたが、その足場解体作業中、強風（風速12.5m/s）にあおられて、栈橋を構成する梁（直径80cmの鋼管）から墜落し溺死したもの。	30309	10	10 ～ 29
2018	3	14 ～ 15	事業場敷地内の破損した倉庫の屋根（ポリカーボネート樹脂板）の修理作業を単独で行っていた被災者（元大工）が、高さ5.57mの屋根の波板を踏抜き、地上に墜落し倒れているのが発見された。被災者は病院に搬送されたが、死亡が確認された。発見時の被災者は保護帽、安全帯ともに未着用であり、屋根に防網等も設置されていなかった。	30109	1	1～ 9
2018	2	16 ～ 17	木造平屋建て牛舎の新築工事現場において、屋根下地の組立て作業を行うに当たり、被災者は地上で垂木材の玉掛け作業を行った後、建屋内部に設置した移動はしごを用い、高さ6.04mの母屋上に移動した。その後、一方の足を母屋（幅9cm）に、もう一方の足を既に固定していた垂木（幅4.5cm）の上へのせ、同僚が仮置きしていた垂木を固定しようとする等していたところ、建屋内部の地面に墜落したもの。	30202	1	10 ～ 29
2018	2	16 ～ 17	中学校のガラス製の屋根の清掃作業中に、ガラスを踏み抜き、高さ約15mから地面に墜落して死亡した。屋根は、網入りガラス約150枚（1枚あたり約1平方メートル）がそれぞれ金属枠（幅6センチメートル）に碁盤の目状にはめこまれていた。被災者は、金属枠の上で作業をしていたが、ガラスに乗った際、踏み抜いた。屋根には歩み板、防網、安全帯取付設備、手すり等は未設置で、被災者は保護帽、安全帯を未着用であった。	150101	1	10 ～ 29
		10	地震による瓦災害工事において、中2階の下屋を施工中に、軒先の板に足を突っ込み、体勢を崩して6.9m下の土手に転落			1～

2018	1	～ 11	したものの。	30202	1	9
2018	1	10 ～ 11	空港国際線ターミナルと国内線ターミナルを連結するターミナル拡張工事において、3階天井部分のPC梁が落下し2階床上で高所作業車を使用して作業をしていた作業員が巻き込まれ被災した。	30201	5	10 ～ 29
2018	1	8 ～ 9	豚の尿の浄化槽建屋の屋根補修及び張替工事のため、被災者が屋根上で古いポリカーボネート波板を剥がす作業をしていたところ、波板を踏み抜き、約3.7m下の浄化槽に墜落しておぼれ溺死した。	30209	10	1～ 9
2018	1	14 ～ 15	被災者は、平屋の児童館の屋根上（片流れ屋根）において除雪業務を行っていたところ、屋根の雪と一緒に約1.8m下の雪山に滑り落ち、雪の下敷きとなり埋まり被災した。災害発生時、屋根に積もった雪が自然に落ちるよう、被災者を含む3名で屋根上の煙突回り等の隅部を除雪していたもの。被災者の他に1名が被災者と同様に埋まったが、この者は救助され怪我はなかった。	30199	1	1～ 9
2018	1	8 ～ 9	工事中の工場建屋の屋根上で荷下ろし作業を終えて、被災者が移動中に足を滑らせ7.5メートル下の地上の敷鉄板上へ墜落した。当該屋根端部には墜落防止用の手すり及び中さんが設置され、屋根上には親綱が設置されていたが、被災者は安全帯を使用しておらず、降雪後は除雪に支障をきたす幅木は取りはずされていたため、手すりをすり抜けて墜落したものである。	30201	1	1～ 9
2019	12	10 ～ 12	2階建て木造住宅の塗装工事で使用した足場を解体作業中、被災者は火打ち材を取り外し、火打ち材1本を持って屋根上を移動していたところ、高さ5.95メートルの軒先から地上に墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2019	12	0 ～ 2	駅構内にて横取装置の電源を新設するにあたり、線路を横断するビームに防護管を設置するため、高さ約6mのビーム上で作業していたところ、墜落したものの。	30301	1	1～ 9
		12	新築工事現場、建築物屋内の梁上において、被災者及び被災者所属事業場の労働者が梁間にベニヤ板を渡して当該ベニヤ板上			

2019	12	～	で、柱にシートを取り付ける作業に従事してたところ、被災者が当該ベニヤ板上から約6 m下のコンクリート地面に墜落し、	30309	1	1～ 9
	14		死亡したもの。			
2019	12	～	被災者は、木造家屋の解体工事現場で解体作業に従事中、解体中のゴミ等が隣家に入らないよう、現場を単管パイプとメッ	30209	1	1～ 9
	10		シュシートで養生作業中、1階屋根の軒先から3.5 m下の地面に転落し、頭部等を強打したもの。その後、病院に搬送され			
			たものの、同日午前に死亡が確認された。			
2019	11	～	被災者は、工場の解体工事現場において、高さ約10メートルの位置にある屋根に上がりスレートを撤去していたところ、ス	30209	1	1～ 9
	10		レートを踏み抜いて地面に墜落し、死亡した。			
2019	11	～	民家の外壁改修工事現場において、2階外壁塗り替えのため、1階屋根上で、作業床の設置場所を確認していたところ、高さ	30202	1	1～ 9
	10		約3メートルからアスファルト地面に墜落した。			
2019	11	～	木造2階建ての屋根に設置されたソーラーパネルの定期点検のため、住宅の東面から3連はしごを用いて、被災者が屋根に	170209	1	10 ～ 29
	10		上って作業を行っていたところ、屋根の西側の端部から地上まで墜落したもの。			
2019	11	～	倉庫の屋根補修作業において、スレート屋根上に上り、ガルバリウム鋼板を取り付けする作業中、スレート屋根を踏み抜き、	30209	1	1～ 9
	12		高さ約7メートル下のコンクリート床面に墜落した。			
2019	10	～	工場のスレート屋根の補修のため、3名の作業員が屋根上でスレートの穴あけ、ボルト締め等の作業を行っていた。3名の作	30209	1	1～ 9
	16		業員が休憩を取ろうと声を掛け合い、それぞれの作業場所から休憩場所へ移動しようとしていたところ、ドスンと音がした。			
			確認したところ、穴の開いたスレート屋根から約8 m下の工場内の床面に倒れている作業員1名が発見された。			
			14 台風の雨、暴風によって、損傷したスレート屋根の修繕作業において、屋根上の作業員が、スレート屋根を踏み抜いて、地上			1～

2019	10	～ 16	へ墜落した（約7m）。	30203	1	9
2019	9	10 ～ 12	マンションの管理人である被災者は、工事業者が前日に修繕を行った箇所（屋上、エキスパンションジョイント部）の確認を行うため、14階へ向かったところ、屋上への導線となる屋根の端部から1階エントランス部まで転落し死亡したものの。	150101	1	100 ～ 299
2019	9	10 ～ 12	木造2階建て個人住宅の解体工事現場にて、バールのような手工具を用いて屋根上の天井の梁の上で天井ベニヤ板を解体作業中、3.7m下の階段上に墜落し、さらに1.3m下のコンクリートの床に転落して死亡したものの。	30309	1	1～ 9
2019	9	16 ～ 18	台風により、各所で屋根に穴が開き、雨漏りがするようになったが、ある工場においても、穴が開いている部分が目視で確認できた。そのため、当該工場の屋根に登って、点検作業を行っていたところ、スレート葺であった屋根を踏み抜き、約5.7メートル下に墜落した。	10806	1	10 ～ 29
2019	9	12 ～ 14	自社工場の屋根に上がり、同僚2名と雨樋の補修作業を行っていたところ、被災者がスレート屋根を踏み抜き、9メートル下の工場床面に墜落したものの。	11209	1	1～ 9
2019	8	12 ～ 14	工場建屋の屋根補修工事において、被災者は同工事で使用するスレート材を手に持ち、同建屋のスレート屋根上に敷かれた幅20センチメートルの歩み板を徒歩で移動し、同材を明り取り窓付近に置いていたところ、同窓を踏み抜き、約7メートル下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～ 9
2019	8	12 ～ 14	小中学校に設置された貯水槽内部の清掃作業の業務を委託されたもの。災害当日は午後より労働者3名で中学校屋上の貯水槽内部の清掃作業を開始したところであった。被災者は貯水槽の外観を写真撮影していたが、撮影中に屋根の端部より約16m下の地面に墜落した。	150109	1	10 ～ 29
2019	7	10 ～	倉庫の屋根（FRP材）の屋根の張替え工事において、作業開始の際に、屋根上を移動中、被災者がFRP屋根を踏み抜いて	30309	1	1～

		12	高さ約6 mから墜落したもの。			9
2019	7	12 ～ 14	工場のスレート屋根に設置されたルーフファン（煙突）を塗装する作業を行っていた労働者が、スレートを踏み抜いて約14 m下のコンクリート床に墜落し死亡したもの。	30201	1	10 ～ 29
2019	6	8 ～ 10	屋根の冷却用スプリンクラー設置工事のため、スレート屋根上で配管の設置作業していた被災者が、スレートを踏み抜いて約5 mの高さから墜落したもの。	30110	1	1～ 9
2019	6	14 ～ 16	住宅新築工事現場において、梁上で2階床敷き作業を行っていた被災者が、約3メートル下に墜落したもの。なお、被災者は災害発生日から入院していたが、後日本災害に起因して死亡した。	30202	1	1～ 9
2019	6	8 ～ 10	被災者はマンションの2階共用廊下において清掃作業を行っていたが、同廊下外側の手すり壁を乗り越え、清掃作業箇所でないエントランスホールの屋根部（高さ3.75メートル）に移った後、屋根部より墜落し死亡した。	150101	1	300 ～ 499
2019	6	10 ～ 12	被災者が、2階屋根（高さ733センチメートル）を作業床とし、屋根の補修工事を行っていたところ、この屋根から墜落したもの。なお、墜落防止措置は講じられておらず、要求性能墜落制止用器具の使用もされていなかった。	30202	1	1～ 9
2019	5	16 ～ 18	台風により被害を受けた建物のスレート屋根を補修する工事において、スレート屋根の上で作業を行っていた2次下請の労働者がスレート屋根を踏み抜き、高さ約6.1メートル下のコンクリート床に墜落し、死亡したもの。	30309	1	1～ 9
2019	5	～	14 既設建物の改修工事のため外部足場（最高高さ30.5 m）を組立てに際し、足場南側から北側に向かって歩行中、北側にいた対向者を避けるため、足場から建物梁に移動したところ、梁から足を滑らせて10階から2階（高さ約25 m）に墜落した	30201	1	1～ 9

		16	もの。移動時は胴ベルト型の安全帯を外していた。			
2019	5	12	木造軸組工法の作業場の新築工事現場において、被災者は高さ4.5mの梁に乗り、梁と梁の頭つなぎをホゾに入れようとして片足を頭つなぎに乗せた状態で掛矢で頭つなぎを打ったところ、頭つなぎがホゾからはずれ、頭つなぎもろとも墜落した。	30202	1	1～9
		14	その後、病院に搬送されたが死亡が確認された。			
2019	4	10	木造平屋建て新築工事現場において、被災者は、母屋上から垂木を設置箇所に運搬する作業を行っていたところ、約4m下の	30202	1	1～9
		12	地面に墜落し、更に1m下の田んぼに墜落した。建屋の外周にはクサビ緊結式足場が組まれていたが、中さん及び飛来・			
		12	落下防止ネットが設置されていなかった。			
2019	4	10	木造家屋の雨樋等改修作業において、被災者が2階の屋根に上り、雨樋の金物を事業主に渡そうとしたところ、屋根端部から	30202	1	1～9
		12	道路に墜落した。			
2019	4	10	資材等を保管するために使用していたコンテナ（高さ約2.4m、幅約3m、奥行約5m）の雨漏りを補修するために当該コ	30209	1	10～29
		12	ンテナ上で作業していた被災者が高さ約2.4mの位置から地面に墜落した。			
2019	3	12	被災者は、2階建て個人住宅の建替え工事現場において、1階屋根部の上に設けられた足場板から屋根を経由して外部足場上	30202	1	1～9
		14	に乗り移り、さらに建物2階の床面に乗り移ろうとしたところ、開口部から約3.8メートル下の基礎部に墜落した。			
2019	3	10	被災者は、ホテルのエントランスの屋根に上がり、スコップで雪庇を落としていたところ、上方の屋根（三角）に積もった雪	140101	1	30～49
		12	が滑り落ちてきて、被災者がこれに巻き込まれ、約7m下の地面に墜落した。被災当時の天気は晴れ、気温はプラスで			
		12	あった。			
2019	3	10	被災者が垂木の出鼻をそろえる為の墨打ち作業中、屋根から約3.5m下の地面に墜落した。	30202	1	1～9
		12				

2019	2	12 ～ 14	被災者は、最低高さ3.57メートルの自社倉庫の屋根の上において、専務とともに2名で除雪作業に従事していたが、災害の発生時分に、除雪作業をしていた屋根の下で雪に埋まった状態で、専務により発見された。傍らには転位した移動式はしごがあった。被災者が作業していた屋根の一部には落雪の痕跡が認められたが、被災者が発見された場所は、落雪の痕跡がある屋根の下方であった。	80209	1	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	個人の木造住宅解体工事現場において、1階屋根の上で作業者が軒を切ろうとした時に、地上高さ3.85mの屋根から墜落したものと推定される。	30202	1	1～ 9
2019	2	16 ～ 18	折板屋根修繕工事において、FRP製明り取り折板の交換のため、屋根上で墜落防止用の手すり等の仮設資材設置作業中、被災者は作業が終了したため屋根から降りるまでの間に、設置済みの手すりの外に出て、交換する予定のない劣化した明り取り折板を踏み抜き、約15m下に墜落して死亡した。	30209	1	1～ 9
2019	2	14 ～ 16	台風被害及び老朽化による屋根修繕工事（瓦取替）において、労働者2名で外部足場解体作業中、下屋根（高さ3.26m）から墜落したものの。	30202	1	1～ 9
2019	2	8 ～ 10	被災者が倉庫棟東面の庇のスレートの撤去作業のため、当該スレートの上に上った直後、当該スレートを踏み抜き、高さ約5.2m墜落し、死亡したものの。	30201	1	10 ～ 29
2019	1	10 ～ 12	住宅の新築工事において、屋根部の梁（幅10cm）の上で母屋材（角材）を配置していたところ、1階床（木板）に墜落したものの。高さ5.8m。ヘルメットは着用、安全帯は未着用であった。	30202	1	1～ 9
2020	12	8 ～	被災者は、スレート屋根を更新する工事現場において、地上から高さ約15mの場所に位置するスレートを踏み抜き、地上に墜落した。建物周囲には足場があり、屋根上には3列の親綱が張られていたが、歩み板は無く、墜落防止用ネットを屋根上に	30209	1	1～

		10	広げる作業が途中まで行われていたが屋根を踏み抜いた箇所にはネットがまだ広げられておらず、墜落制止用器具も親綱にか けていなかった。			9
2020	11	16 ～ 18	倉庫のスレート屋根の張り替え工事をしていた被災者が、スレートの取り付けをしようとしたところ、スレート屋根を踏み抜 き、約6.3m下のコンクリート床面へ墜落したものの。	30209	1	30 ～ 49
2020	10	10 ～ 12	蔵の屋根の取替作業で、被災者が、既設の下地材の上に新しい下地材の合板を仮置きする作業を行い、他の2名が離れた位置 で釘止めする作業を行っていた。屋根上で作業していた被災者の方から音がしたので、他の労働者が振り返って確認すると、 軒先に合板が引っ掛かり、被災者が地上に墜落して倒れている状況を発見した。蔵の周囲には、くさび式足場が設置されてい たが、手すりは1段で、荷上げのため一部のシートが取り外されていた	30202	1	10 ～ 29
2020	10	8 ～ 10	木造2階戸建て住宅建設工事における上棟時、地上からの高さ約3.6mの足場又は梁の上から墜落し、被災者の右脇腹に足 場2層目の建地が突き刺さったもの。	30202	1	1～ 9
2020	10	10 ～ 12	軽量鉄骨造2階建家屋解体工事に従事していた被災者が、屋根上で屋根パネル材の解体をしていたところ、屋根上から約5. 7m下方の基礎コンクリート上に墜落し、意識不明の状態での病院に搬送されたもの（意識不明のまま、後日誤嚥性肺炎により 死亡）。	30202	1	1～ 9
2020	9	12 ～ 14	被災者は、同僚2名と工場建屋の屋根（スレート下地金属板複合屋根、既存のスレート材に後から金属波板を取り付けた）上 で外壁の腐食部分の撤去・清掃作業に従事していた。午前中に外壁腐食部の撤去作業が完了し、昼食休憩後、撤去した外壁の 破片が屋根の上に落ちていたので、これを掃き集め片付ける作業中、下地であるスレート材及び上部の金属波板の腐食度合の 高い箇所を踏み抜き、約8メートル下の工場床に墜落し、死亡した。	30201	1	10 ～ 29
2020	9	14 ～ 16	作業員2名で2階建て戸建て住宅の2階屋根の補修作業を行っていたところ、1名が高さ約6.5mの軒先から地上へ墜落し たもの。	30202	1	1～ 9

2020	9	14	自社工場の屋根補修のため、同僚1名とスレート屋根に上り作業を行っていたところ、被災者の足元のスレートが割れ、被災者はバランスを崩し、明り取りの箇所から墜落。屋根下に天井板（ベニヤ板）が設けられていたものの、同天井板を突き破り、地上まで墜落。墜落高さは4.28m。	10709	1	1～9
2020	9	10	S造平屋建倉庫建設工事現場において、被災者が鉄骨に登り鉄骨のボルトの本締めを行っていたところ、天井下地材の薄板鋼板を踏み抜き、高さ約6.42メートルの箇所からコンクリート床面に墜落し、死亡した。なお、墜落防止措置は講じられていなかった。	30201	1	1～9
2020	8	10	被災者は、倉庫屋根上（鉄骨スレート葺）を覆っている木の枝の除去作業を同僚と2名で従事していた。同僚がチェーンソーで木の枝の切断する係を担当し、被災者は切断する木を押さえる係を担当をしていた。被災者は、外部足場から倉庫屋根上に移動し歩いていたところ、屋根に取り付けていた明り取り用波板を踏み抜き、589cm下のコンクリート床に墜落した。	30209	1	1～9
2020	8	16	5階建てアパート（40世帯入居可）の屋上に太陽光パネルを設置するため、屋上（広さ約9m×約70m）で設置済みの架台に太陽光パネルの設置に必要な金具を取付ける作業を行っていた。屋上では代表者を含む4名が作業をしており、各々が取付け作業をしていたところ、被災者がいないことに気が付いた同僚が探したところ、約15m下の地上に墜落している被災者を発見した。墜落制止用器具の取付設備はなかった。	30302	1	1～9
2020	8	10	工場の屋外に設置している排気ダクトより異音がしたため、被災者がスレートの屋根に登り点検していたところ、当該スレート屋根を踏み抜き、約5m下の室内コンクリート床に墜落した。	11703	1	1～9
2020	8	8	屋内機械室において冷凍装置のメンテナンス作業中、隣接する建屋に部品を取りに行くため、その最短距離となるスレート屋根上に設置してある2本の配管（幅25cm）の上を歩行していたところ、採光スレートを踏み抜き7.3m下のコンクリート床に墜落したものと推測される。スレート屋根には歩み板、防網等の設置はなく、被害者は保護帽及び墜落制止用器具を着用していなかった。	30302	1	1～9
2020	6	12	スキー場のリフト乗り場（標高約800m）の床板の張り替えを4人で行っていた。床板を取り外した箇所の根太材（幅6cm、高さ9cm）に被災者が上がっていたところ、折れて4.4m下の地山に墜落した。4人ともヘルメットや安全帯は着用	30202	1	1～

		14	していなかった。作業は初日であった。				9
2020	6	8 ～ 10	木造住宅新築工事現場において、高さ3.42mの1階屋根上で、地面にいた者から外装用下地合板（97cm×3m・重さ約20Kg）を受け取った後、地面に墜落したもの。建築物全周に外部足場の設置はあるが、被災者が墜落した箇所については建築物への出入口として開口部にしており、建地のみで足場板の設置無し。	30202	1		1～ 9
2020	6	16 ～ 18	2階建ての住宅の屋根の上において、エア・コンディショナー（エアコン）の室外機等の取付作業を行っていたところ、足を滑らせて屋根から約3.1m下の地面に墜落したもの。	80209	1		1～ 9
2020	5	10 ～ 12	テント倉庫の屋根の修繕作業を作業員5名で行っていた。うち1名が作業のために屋根の上にあった。他の4名が地上で作業に従事していたところ、突然、テント倉庫内から衝撃音が響き、その方へ駆けつけると、屋根上に上がっていた作業員がコンクリートの床に倒れていた。直ちに救急搬送され、搬送先で死亡が確認された。	30309	1		1～ 9
2020	4	14 ～ 16	被災者は朝から事業場内でユニック車の荷台の片づけ作業に従事し、朝から現場作業を行い、正午頃に帰社し昼休憩を取った後、お昼頃から荷台の片づけ作業を同僚と再開した。被災者が単独で片づけ作業を行っていたが、夕方に被災者が工場内のスレート屋根を踏み抜き、約6m下の床に墜落した。墜落の際、壁に立て掛けていた丸鋸刃に頭部が接触した。	10909	1		1～ 9
2020	4	10 ～ 12	平屋建て倉庫のスレート屋根塗り替え作業中、スレートを踏み抜き4.79m下に墜落したもの。	30202	1		10 ～ 29
2020	4	8 ～ 10	工場の雨漏り修繕のため、屋根スレート板の張替え作業中、使用していた工具等を片づけるために屋根上を移動していたところ、スレートを踏み抜き約8.5m下のコンクリート床に墜落したもの。	30209	1		10 ～ 29
2020	3	16 ～	被災者は、単独作業で寺の屋根に上がって屋根板金を補修する作業中、3.8m下の地面に墜落した。被災時、寺の周囲には足場が設置されていなかった。また、被災者はヘルメット、安全帯を着用していなかった。	30202	1		1～ 9

		18				
2020	3	12 ～ 14	被災者は堆肥小屋の屋根を補修するため、高所作業車を使用して屋根に上り、補修作業を行っていた。その際、屋根材を踏み抜き、堆肥の上に墜落した。その後、堆肥を攪拌するための攪拌機が自動で稼働していたため、攪拌部に巻き込まれて、切断された。	70101	1	30 ～ 49
2020	3	8 ～ 10	被災者は、所在する工業のスレート屋根上にて、屋根の棟部分の補修作業を行っていたところ、スレート屋根を踏み抜き、約9メートル下のコンクリート床に墜落し、搬送先病院にて死亡したものの。	30209	1	1～ 9
2020	3	16 ～ 18	木造家屋改修工事（建方作業）中、雨が降ってきた為、被災者において2階屋根全体にブルーシートを掛ける作業を行っていた際、東面屋根端部よりしゃがんだ状態で背中を外側に向けながら墜落。1階屋根部分に墜落後さらにアスファルト地面に墜落した。（地上から1階屋根までの高さは3.16m、2階屋根までの高さは6.06m）災害発生から3時間半後脳挫傷により死亡。親綱等設備なし。墜落時保護用の保護帽のみ着用していた。	30202	1	50 ～ 99
2020	2	8 ～ 10	屋根改修工事のため、スレート屋根上で資材の荷卸作業をしていた被災者が、スレートを踏み抜いて約5mの高さから墜落したものの。	30209	1	1～ 9
2020	1	14 ～ 16	外壁の塗装工事現場において、高さ2.84mの屋根上に単管足場を組み立てる作業を行った。被災者は、クランプ1点で固定された長さ4mの建地材をつかみ、足場上に上ろうとしたところ、建地材が回転し、屋根の上から墜落した。保護帽は着用していたが、要求性能墜落制止用器具は着用していなかった。	30209	1	10 ～ 29
2020	1	10 ～ 12	病院の増築工事（S造2F建）において、鉄骨の組立作業を行っていた被災者が、梁材の上面（高さ約6.5m）から墜落し、脳挫傷により死亡したものの。移動式クレーンで吊られた梁材（1点吊）を支柱の取付プレート上に仮置きして、その梁材の上を移動していたところ、梁材がプレートから外れ、バランスを崩して墜落した。安全帯は着用していたが、墜落直前には使用されていなかった。保護帽は飛来落下用の物を着用していた。	30201	1	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html